

2020年6月23日

各位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之
(コード番号 : 8303 東証第一部)

男性社員のお小遣い額は 39,419 円と 2018 年の水準に回復**～「2020 年サラリーマンのお小遣い調査」結果について**

～男性社員のお小遣い額は前年比 2,672 円増加、昼食代も前年比 30 円増加の 585 円～

当行は、20 代から 50 代の有職者の男女約 2,700 名を対象にした「2020 年サラリーマンのお小遣い調査」を実施し、その結果を取りまとめました。

「2020 年サラリーマンのお小遣い調査」結果の主なポイント

- 男性社員のお小遣い額は 39,419 円(前年比 2,672 円増)と、過去 5 年で最も高水準であった 2018 年の水準に回復。女性社員のお小遣い額は 33,854 円(同、585 円増)となったが、2015 年からほぼ横ばいが続く。
 - 男性社員の昼食代は 585 円(同、30 円増)、女性社員は 583 円(同、2 円増)。
 - 男性社員の 1 ヶ月の飲み代は 11,620 円(同、1,555 円減)、女性社員は 8,455 円(同、1,028 円減)と、男女ともに前年比で減少。
 - 職場で働き方改革があったと回答する割合は、男性社員 56%(同、8.5 ㊦増)、女性社員 50.7%(同、10 ㊦増)と、いずれも前年比増加し、半数を超える。働き方改革の内容として「テレワーク」や「時差出勤・時差勤務」の回答が増え、従来の「有給取得増加」や「残業減少」から、さらに働き方の変化が進んでいる傾向が見られる。
- **男性社員のお小遣い額は 2018 年と同水準へ回復、女性社員は前年比増加ながらも 2015 年から横ばいの状況**
男性社員のお小遣い額は 39,419 円と前年比 2,672 円増加となり、過去 5 年で最も高水準であった 2018 年と同じ水準まで回復しました。年代別にみると、どの年代でも増加したものの、特に 20 代と 50 代で昨年より 4,000 円近くの大増となり、41,000 円台を超えています。男性社員におけるお小遣いが増えた理由は、「給料が上がったから」と回答した割合が最も高く、「副業をはじめたから」、「投資などを始めたから」という回答も増えています。女性社員のお小遣い額は昨年 33,269 円から 585 円増加し、33,854 円となりました。女性社員のお小遣い額は、前年比の変化が 1,000 円未満にとどまり、概ね横ばいの状態が続いています。年代別にみると、30 代で 3,513 円増と大きく増加している点が特徴的です。
 - **昼食代は、男性社員・女性社員ともにやや増加**
男性社員の 1 日の平均昼食代は、前年の 555 円から 30 円増加の 585 円となりました。2017 年以降緩やかな減少傾向がありましたが、今回は増加に転じました。年代別では、20 代で 100 円以上の大幅な増加が見られます。女性社員の 1 日の平均昼食代は前年の 581 円から 583 円へと 2 円増加したものの、2017 年以降大きな変化は見られません。年代別では、40 代で 100 円以上減少しましたが、その他の年代では増加傾向となっています。男性・女性社員ともに持参弁当の割合が最も高く、男性で 3 割半ば、女性で半数を超える結果となりました。
 - **男性・女性社員ともに 1 ヶ月の飲み代は減少**
男性社員の 1 回の飲み代は 5,232 円、1 回の飲み代と 1 ヶ月の平均飲み回数から算出した 1 ヶ月の飲み代は前年比 1,555 円と大幅に減り、11,620 円となりました。女性社員の 1 回の飲み代は 4,196 円、1 ヶ月の飲み代は前年比 1,028 円減少の 8,455 円と減少傾向が続いています。
 - **職場で働き方改革があったと回答する割合は、男性・女性社員ともに前年比増加、半数を超える。働き方改革の内容では「テレワーク」や「時差出勤」などの回答もあり、さらに改革が進んでいる傾向**
「職場で働き方改革があった」と回答する割合は、男性社員、女性社員ともに前年より 10 ㊦程度増加して、それぞれ 56%と 50.7%となり、半数を超えました。働き方改革の内容としては、「有休が取りやすくなった」「残業が減った」という回答が半数前後となり、さらに「テレワークで働くようになった」「時差勤務・時差出勤で働くようになった」という回答も増えるなど、働き方改革のさらなる進展が見える結果となりました。

本調査の詳しい調査結果については、別添「2020 年サラリーマンのお小遣い調査詳細レポート」をご参照ください。



以上
お問い合わせ先
新生銀行 グループIR・広報部
下村、紀、風間
[Shinsei PR@shinseibank.com](mailto:Shinsei.PR@shinseibank.com)

2020年
サラリーマンのお小遣い調査
詳細レポート

2020年 サラリーマンのお小遣い調査概要

2020年の男性会社員のお小遣い額は39,419円と

2018年の水準に回復

ランチ代は585円と前年より30円増加

- 男性会社員の毎月の平均お小遣い額は39,419円と、前年より2,672円増加し、2018年の水準に回復。20代と50代は4万1,000円台と円と前年より4,000円近く増加した。40代は36,449円と男性会社員の中で最も低いお小遣い額。
- 男性会社員の1日の平均昼食代は前年比30円増加で、585円。
- 男性会社員の1回あたりの飲み代は5,232円、自宅で飲む方の2,945円より2,287円以上高い結果に。
- 女性会社員の毎月の平均お小遣い額は、前年比585円増加し、33,854円。20代は40,391円となり、今回調査で唯一4万円台を超えた。女性会社員の1日の平均昼食代は前年比2円微増の583円。1回あたりの飲み代は4,196円と、自宅で飲む方の1,969円と金額に開きがある。
- 男性会社員の職場において、「働き方改革があった」と回答した人は前年比で8.5pt増加の56%となり半数を超えた。「残業が減った」(54.2%)、「有給が取りやすくなった」(41.1%)、「定時に帰宅できる日数が増えた」(24.5%)が主な内容。働き方改革により増えた支出として、「趣味の費用・娯楽」11.6%、「食費」11.0%、「子どもの教育費」10.3%があがり、減った支出として「飲み代」32.4%があがる。
- 消費税10%の負担を感じる人は、男性会社員で66.3%、女性会社員で73.1%となる。しかし、消費税10%後の行動として、「キャッシュレス決済のポイント還元」の利用が男性会社員で2割後半、女性会社員で3割後半ほどあり、消費税10%増税分の負担を補う行動を積極的に行っている様子。

■2019年度の景気動向

2019年度の日経平均株価は2万1,000円台からスタートし、世界同時利下げによる影響で年末終値は2万3,656円と1990年以来の29年ぶりの高値となり、さらに2020年1月には昨年来高値を更新し2万4,000円台をつけました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞が影響し、2020年3月は2019年度安値の1万6,000円台をつけ、2019年度の日経平均株価は大きく変動しました。

景気の見方について、2019年度前半から国内経済は伸び悩んでおりましたが、年度後半以降は、10月の消費増税後に景気が大きく落ち込み、さらに新型コロナウイルス感染症の拡大により、景気は一段と下押しされました。

賃金面においては、厚生労働省が発表した令和元年度の毎月勤労統計調査によると、名目賃金が(年率)+0.0%、物価変動を除いた実質賃金指数は前年度比で-0.6%となりました。同じく厚生労働省が発表した「令和元年 賃金構造基本統計調査」によると、一般労働者の月額賃金は男性33万8,000円(前年比0.1%増)、女性25万1,000円(同1.4%増)となり、女性の賃金は過去最高を更新しました。

■2020年度の見通し

当行は、新型コロナウイルス感染症による国内外での経済活動の停滞が国内景気を大きく下押しすると考えており、国内外での感染症の再流行のリスクも想定したうえで、2020年度の実質GDPは-9.6%^(注)と大幅なマイナス成長になると見込んでいます(2019年度+0.0%)。また2019年度の賃金の見通しとしては、2020年春闘の中間集計結果によると(2020年5月11日公表)、基本給を底上げするベースアップ(ベア)実施額は、1,570組合の賃上げ額平均で1,361円となり(引き上げ率は0.45%)、前年同時期の実施額と率(賃上げ額1,570円、引き上げ率0.50%)は微増し、6年連続で賃金が引き上げられた結果となりました。

■ 2020年サラリーマンのお小遣い調査

2020年の「サラリーマンのお小遣い調査」では、男性会社員のお小遣いが前年の36,747円から2,672円増加して39,419円となり、2018年と同水準になりました。男性会社員のお小遣いを年代別にみると、50代が最も高く41,987円、次いで20代で41,377円となり、20代と50代ともに4万円を超えていますが、30代と40代は3万円台後半と世代間で差が出る結果となりました。また女性会社員のお小遣い額は、男性会社員より上昇率は低いものの、昨年より585円上昇し、33,854円となりました。

ライフステージ別では、未婚の男性会社員のお小遣いが最も高く4万円台後半となっています。一方で、子どもあり世帯で中高生以下がいる世帯(未就学児、小学生、中学生、高校生がいる世帯)では2万円台半ばから3万円台半ばとなり、子育て・教育費の家計への負担が重い世帯において、お小遣い額が低い結果となっています。

消費税率10%の負担感は昨年より5pt減少したものの、男性・女性会社員ともに6割半以上が負担を感じている(「大変負担を感じている」と「少し負担を感じている」の合計)」と回答し、依然として厳しいお財布事情が明らかになる結果となりました。一方で、消費税10%へ引き上げ後の行動変化で、「キャッシュレス決済時のポイント利用」が男性会社員で27.9%、女性会社員で36.6%となり、消費税引き上げ分を補填する行動をとっています。

働き方改革については、男性会社員では「職場で働き方改革があった」が56.0%となり、昨年より8.5pt増加しました。働き方改革による残業代の増減については、約半数が「変わらない」、約4割が「減少した」と回答しました。働き方改革が影響して増えた支出は、「趣味の費用」と「食費」が1割強とトップ、逆に減った支出は、「飲み代」がトップで3割強となりました。働き方改革がより浸透し、残業が減った結果、残業代にも影響し、支出を抑える傾向が明らかになりました。

(注) 新生銀行 金融調査室「日本経済見通し(2020年6月版、第27号)」(2020年6月19日)

＜調査設計＞

- 調査時期 2020年4月10日～4月14日の5日間
- 調査方法 インターネットによる調査(専門の調査会社に依頼し、全国からサンプルを収集)
- 調査エリア 全国
- 調査対象者 会社員(正社員・契約社員・派遣社員)、パート・アルバイト
- サンプル数 合計2,717名
 会社員 男性:1,252名、女性:841名
 パート・アルバイト 男性:312名、女性:312名
- サンプル内訳

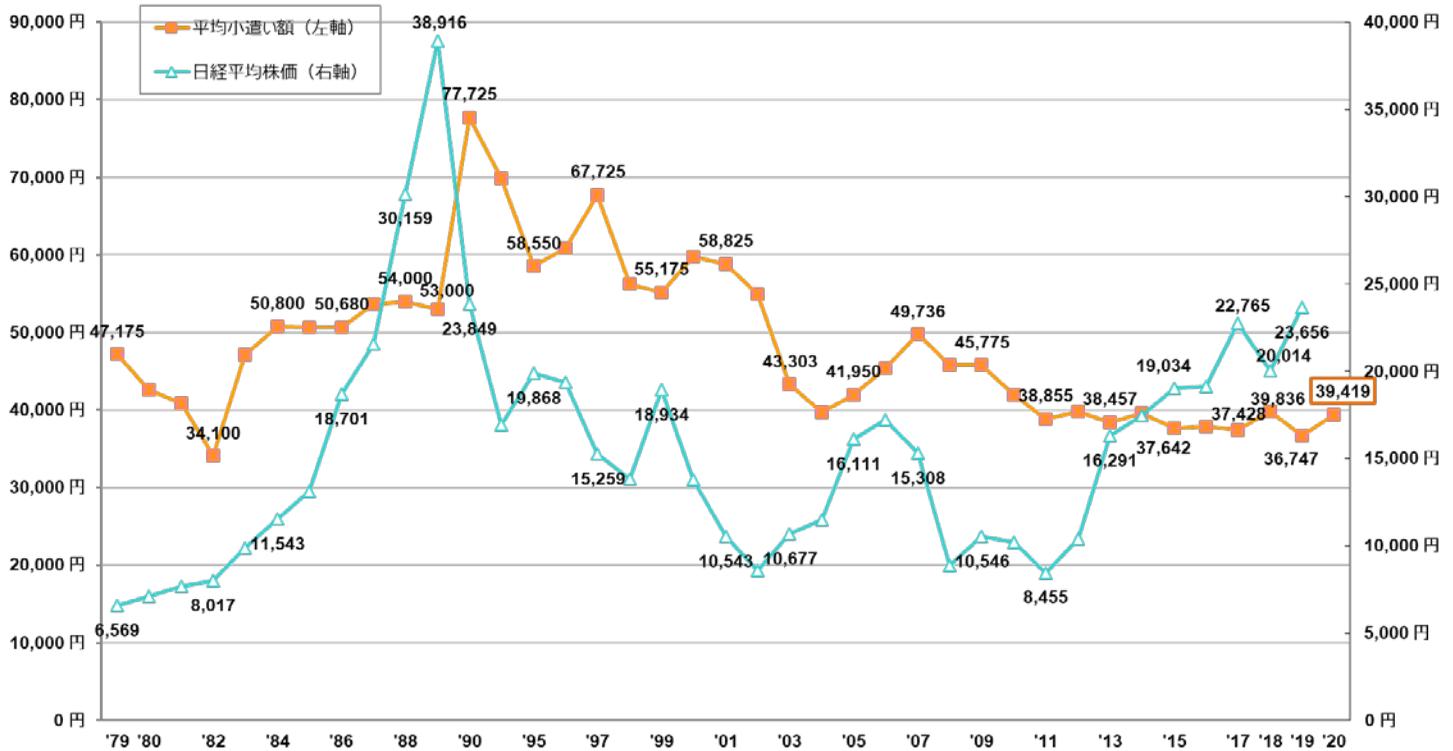
| | 男性 会社員 | | 女性 会社員 | | 男性 パート・アルバイト | | 女性 パート・アルバイト | |
|-----|--------------|-------------|------------|-------------|-----------------|-------------|-----------------|-------------|
| | N | % | N | % | N | % | N | % |
| 20代 | 313 | 25% | 210 | 25% | 78 | 25% | 78 | 25% |
| 30代 | 313 | 25% | 210 | 25% | 78 | 25% | 78 | 25% |
| 40代 | 313 | 25% | 211 | 25% | 78 | 25% | 78 | 25% |
| 50代 | 313 | 25% | 210 | 25% | 78 | 25% | 78 | 25% |
| 総計 | 1,252 | 100% | 841 | 100% | 312 | 100% | 312 | 100% |

※会社員、女性パート・アルバイトは、年代均等にて割付回収しています。
 ※男性パート・アルバイトは年代均等になるよう、集計時に補正をしています。
 (本レポートは、補正後のスコアを掲載しています)

＜目次＞

| | |
|----------------------------------|----|
| 【1】サラリーマンのお小遣い..... | 6 |
| 【2】サラリーマンの昼食事情..... | 13 |
| 【3】サラリーマンの飲み事情..... | 17 |
| 【4】働き方改革によるお小遣いの使い方・やりくりの変化..... | 21 |
| 【5】消費税の負担感、経済的なゆとり..... | 27 |
| 【6】お小遣いの使いみち、やりくり術..... | 33 |
| 【7】サラリーマンの給与管理状況..... | 38 |
| 【8】支払い手段..... | 42 |
| 【9】パート・アルバイトの基本データ..... | 44 |

日経平均株価とサラリーマンの平均お小遣い額の推移 (1979年～2020年)



- 1978年以前と、1991年および1993年、1994年については調査を実施していません。
- グラフ中の日経平均株価は、年次データの終値を表記しています。

【1】サラリーマンのお小遣い

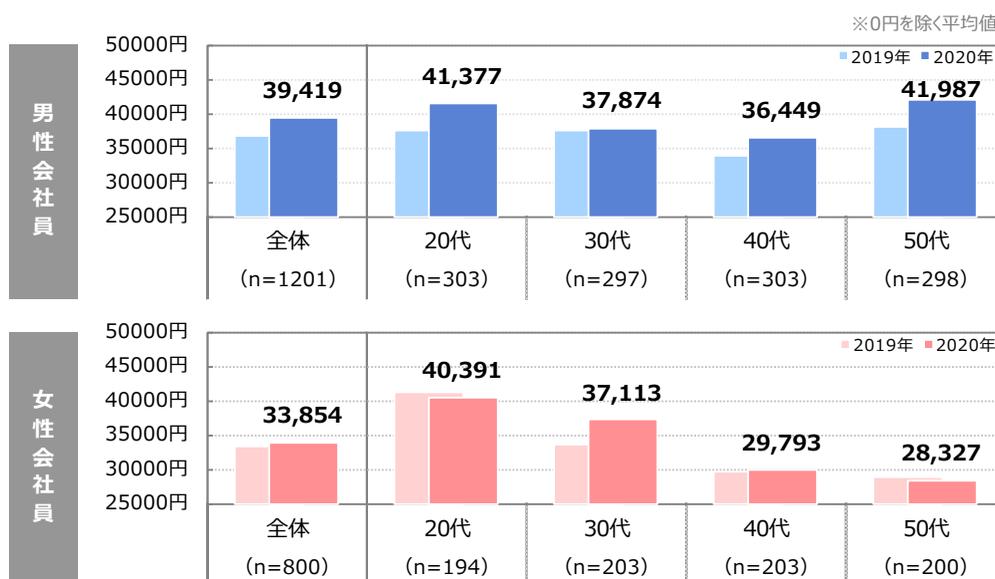
- ▶ 男性社員の月額平均お小遣い額は39,419円と前年比2,672円増加となり、2018年と同水準まで回復する
- ▶ 特に20代と50代では41,000円台を超え、昨年より4,000円近くの増加となった
- ▶ ライフステージ別では、未婚者は46,741円と男性会社員全体より7,000円以上高い
- ▶ 女性会社員は昨年より585円増加し、33,854円となったが、2015年からほぼ横ばいの状態

■ 月の平均お小遣い額

男性社員の月の平均お小遣い額は、昨年の36,747円から2,672円増の39,419円となりました。年代別に見ると、20代と50代で大きく増加しており、どちらの年代でも4万円台を超えています。

女性会社員のお小遣い額も昨年の33,269円から585円増加し、33,854円となりましたが、男性と比べると増加額は1,000円未満にとどまっています。年代別に見ると、30代で3,513円増と大きく増加している点が特徴的です。

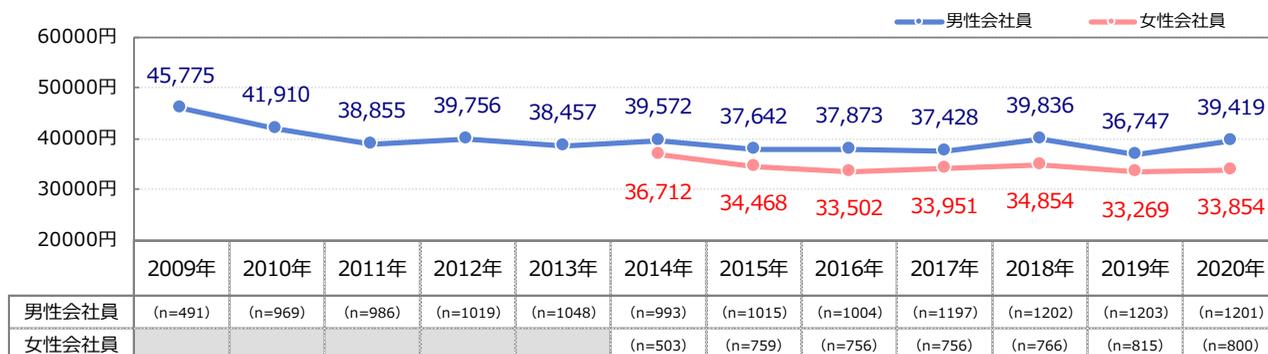
設問：あなたの「おこづかい」はいくらですか？（昼食代含む）



男性会社員における近年のお小遣い額の推移は、2019年は36,747円と低下しましたが、2020年は2018年と同水準まで回復しました。

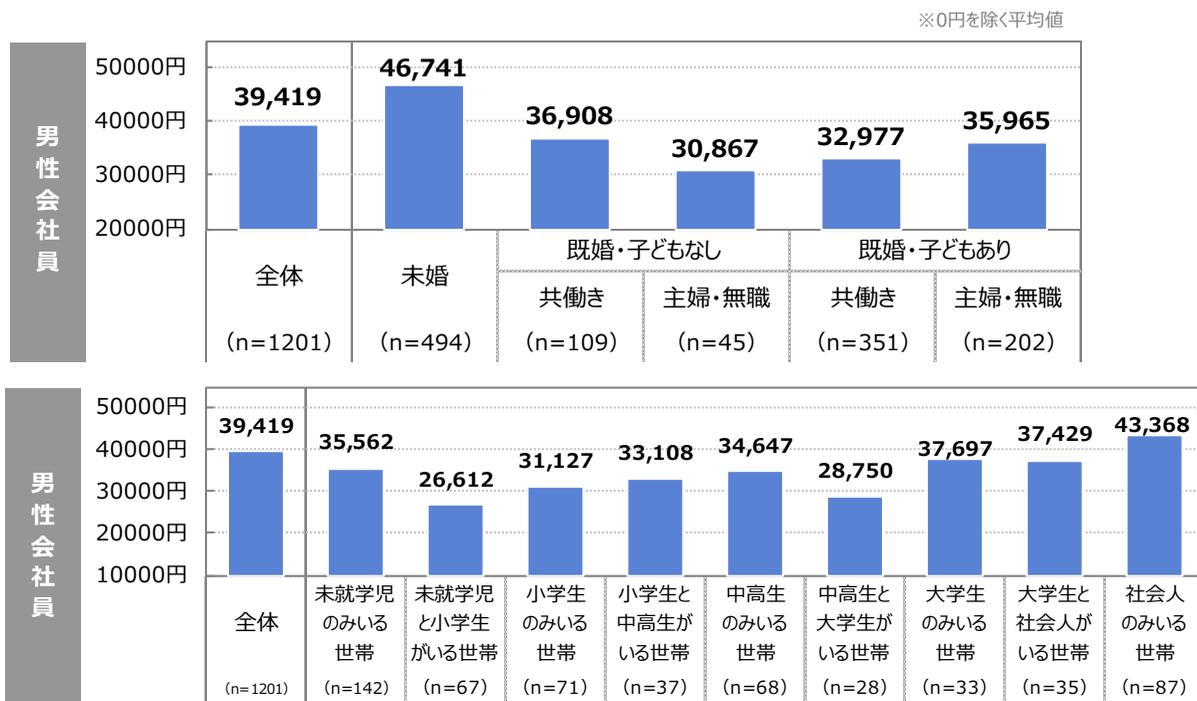
女性会社員のお小遣い額は男性会社員ほど増減はなく、2019年から585円増の33,854円となっていますが、概ね横ばいの状態が続いています。

■ 平均お小遣い額の時系列推移（2009年～2019年）



男性社員の平均お小遣い額をライフステージ別に見ると、未婚者では4万円を超えて、46,741円となります。一方、既婚者は3万円台と、未婚者のほうがお小遣い額が高い結果となりました。

また、子どもの学齢別に見ると、小学生～高校生がいる家庭ではお小遣い額が少ない傾向が見られます。

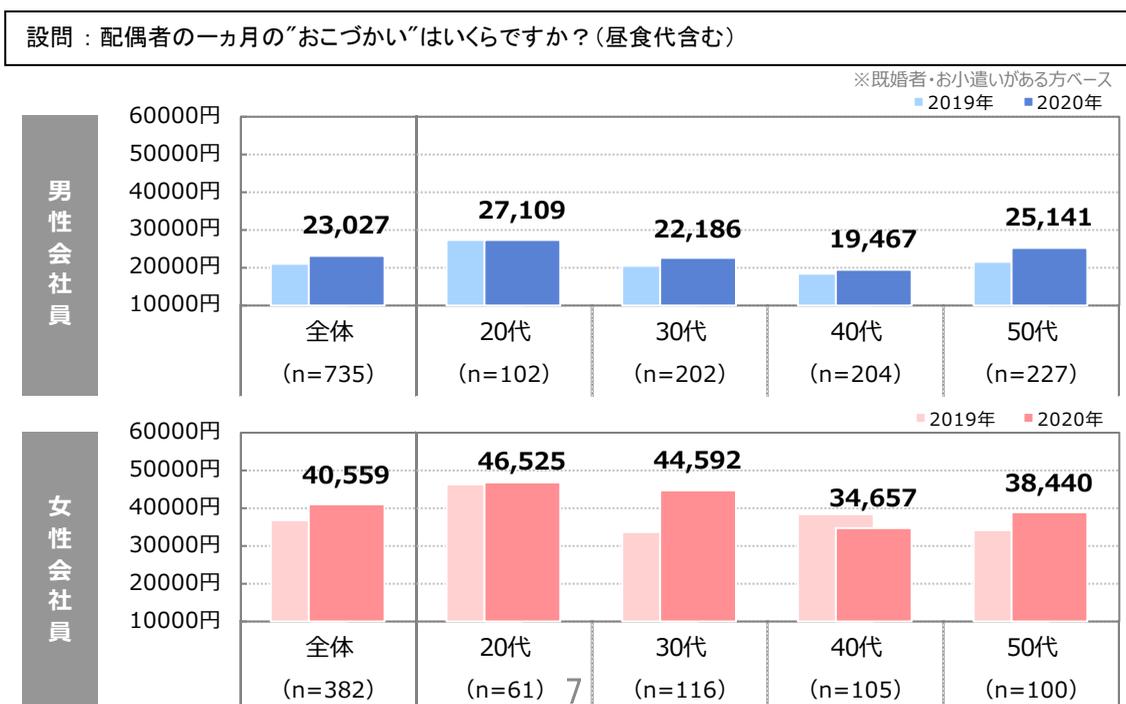


※n=30未満は参考値として掲載

■ 配偶者のお小遣い額

男性社員の配偶者のお小遣い額は、昨年より2,176円増加し、23,027円となっています。年代別では、50代で4,063円増と最も増加しました。

同様に、女性社員の配偶者のお小遣い額も、3,793円増加し、40,559円となっています。また、年代別に見ると、30代で昨年より大幅に増加し、10,917円増の44,592円となっています。

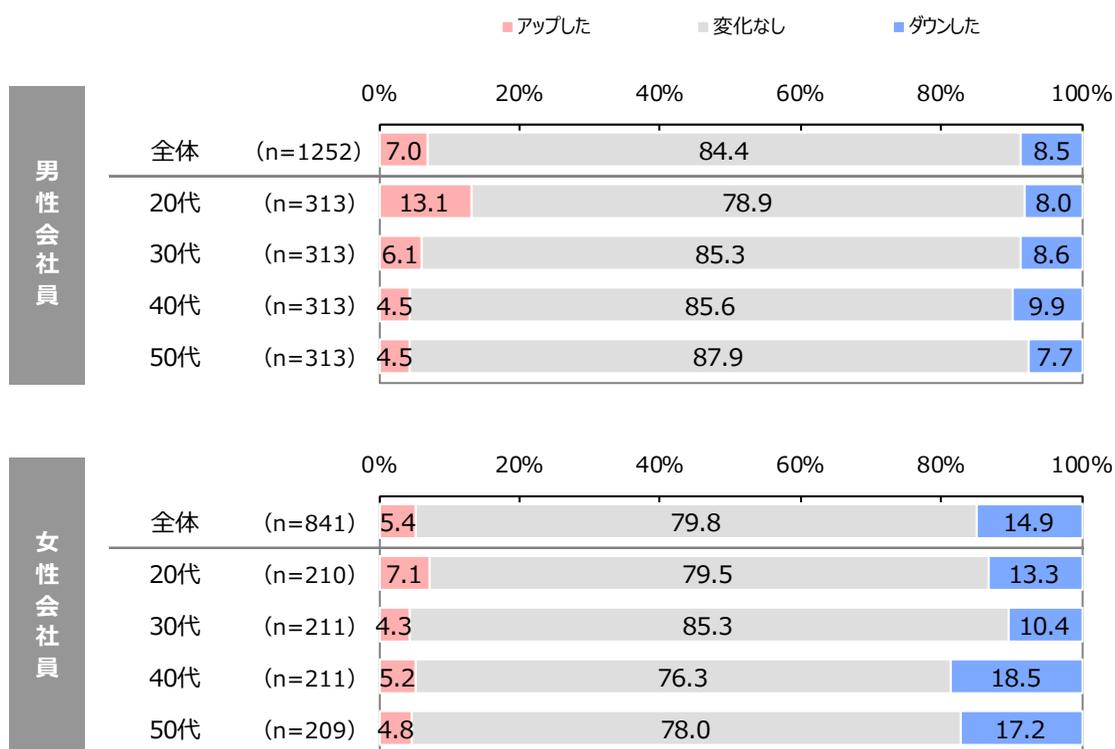


■ お小遣い額の変化

男性社員では、この1年でお小遣い額に変化があった方は限定的で、多くの方が「変化なし」という結果でした。変化があった方では、「アップした」が7.0%、「ダウンした」が8.5%と、アップした方とダウンした方の割合は同程度となっています。年代別に見ると、若年の方ほど「アップした」の割合が高まり、20代では13.1%となります。一方、「ダウンした」の割合は、いずれの年代でも1割未満にとどまります。

女性社員についても、多くの方が「変化なし」という結果は、男性社員と同様です。また、「アップした」の割合が20代で最も高い点も、男性社員と同様です。一方、「ダウンした」の割合は、40代以上で高い傾向が見られます。

設問：この一年(2019年4月～2020年3月)の間に、あなたの“おこづかい”はどのように変化しましたか？



■ お小遣いに変化があった方のプロフィール

男性社員のこの1年でお小遣いがアップした方(7.0%)とダウンした方(8.5%)のプロフィールを、男性社員全体と比較したものが以下となります。ここから、お小遣いに変化があった方がどのような方なのかを確認します。

まず、お小遣いがアップした方は、年齢は20代が46.6%を占め、若年層寄りの傾向が見られます。年収では、個人年収・世帯年収ともに全体より高く、特に世帯年収は全体と51万円の開きがあります。家族構成では未婚層と既婚・子あり・共働き層の割合が高い傾向が見られます。

一方、お小遣いがダウンした方は、年齢は40代が多く、年収は、個人年収・世帯年収ともに全体より低い結果となっています。

| | 男性社員 全体 (n=1252) | お小遣いがアップした方 (n=88) | お小遣いがダウンした方 (n=107) |
|-------------------|--|--|--|
| 年齢 | | | |
| 年収 | 個人年収 532 万円 世帯年収 664 万円 | 個人年収 534 万円 世帯年収 715 万円 | 個人年収 446 万円 世帯年収 547 万円 |
| 家族構成 | | | |
| 給与管理状況 ※既婚者ベース | | | |

※右下にn数が記載されていないグラフは、各カテゴリの1番上に記載している総n数が該当します。

女性社員では、この1年でお小遣いがアップした方は5.4%、ダウンした方は14.9%という結果になりました(P8参照)。

女性社員全体と比較して、プロフィールの特徴を見ると、お小遣いがアップした方は、年齢は20代が33.3%を占め、男性社員同様、若年層寄りの傾向が見られます。年収も個人年収・世帯年収ともに高くなっています。いずれも女性社員全体を大きく上回る金額となっていますが、個人年収でも100万円以上上回っている点が特徴です。

一方、お小遣いがダウンした方は、年齢は40代と50代が多く、年収は個人年収・世帯年収ともに全体より低い結果となっています。また、給与管理状況は、全額を家庭に入れる方が多い結果となっています。

| | 女性社員 全体 (n=841) | お小遣いがアップした方 (n=45) | お小遣いがダウンした方 (n=125) |
|-------------------|--|--|--|
| 年齢 | | | |
| 年収 | 個人年収 333 万円 世帯年収 628 万円 | 個人年収 434 万円 世帯年収 878 万円 | 個人年収 278 万円 世帯年収 484 万円 |
| 家族構成 | | | |
| 給与管理状況 ※既婚者ベース | | | |

※右下にn数が記載されていないグラフは、各カテゴリの1番上に記載している総n数が該当します。

※n=30未満は参考値として掲載

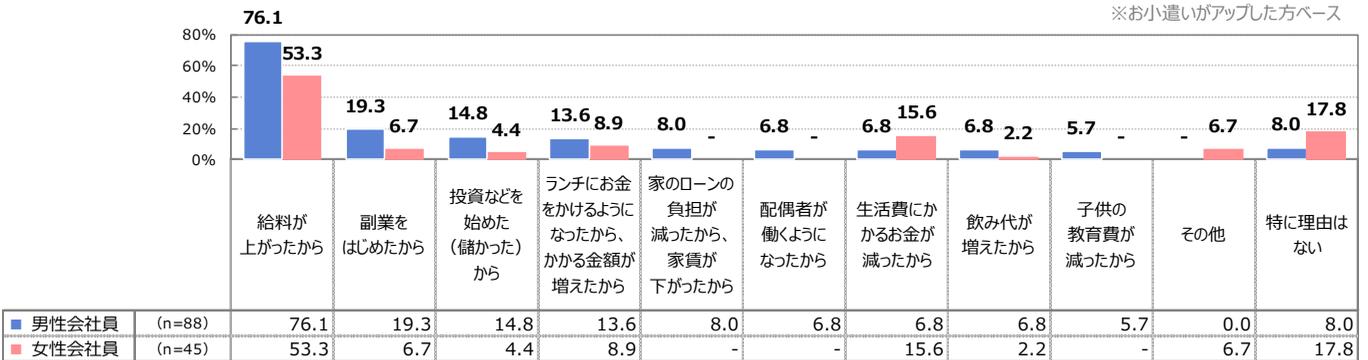
■ お小遣い額がアップした理由・ダウンした理由

この1年でお小遣いがアップした方(男性会社員:7.0%、女性会社員5.4%)の理由が以下となります(P8参照)。

男性会社員におけるお小遣いがアップした理由は、「給料が上がったから」が76.1%で最も高く、「副業をはじめたから」19.3%、「投資などを始めたから」14.8%が続く結果となりました。

女性会社員の理由は1位は変わらず、2番手には「生活費にかかるお金が減ったから」、3番手には「ランチにお金をかけるようになったから、かかる金額が増えたから」が挙げられます。

設問：おこづかいがアップした要因としてあてはまるものをすべてお選び下さい。

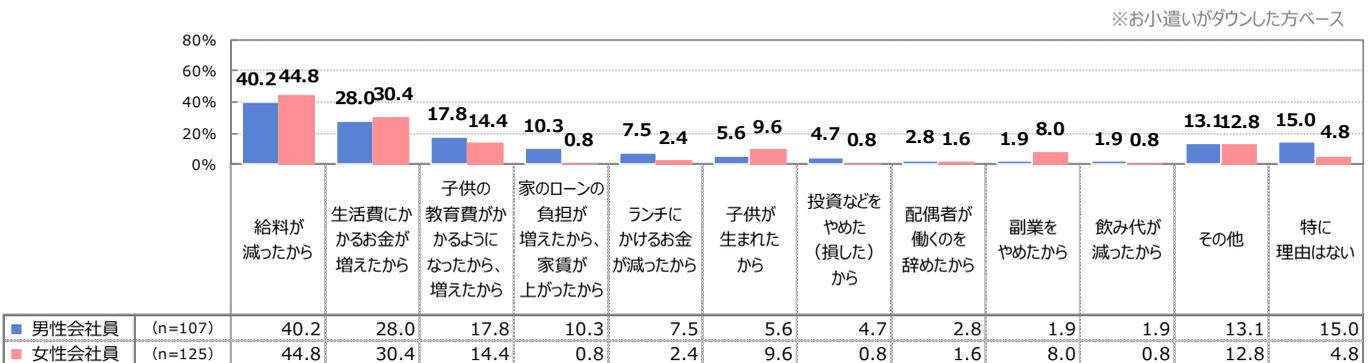


また、この1年でお小遣いがダウンした方(男性会社員:8.5%、女性会社員14.9%)の理由が以下となります(P8参照)。

男性会社員におけるお小遣いがダウンした理由は、「給料が減ったから」が40.2%で最も高く、「生活費にかかるお金が増えたから」28.0%、「子供の教育費がかかるようになったから、増えたから」17.8%が続く結果となりました。

また、女性会社員の理由は、男性会社員同様、「給料が減ったから」が44.8%で最も高く、「生活費にかかるお金が増えたから」30.4%、「子供の教育費がかかるようになったから、増えたから」14.4%と続いています。

設問：おこづかいがダウンした要因としてあてはまるものをすべてお選び下さい。

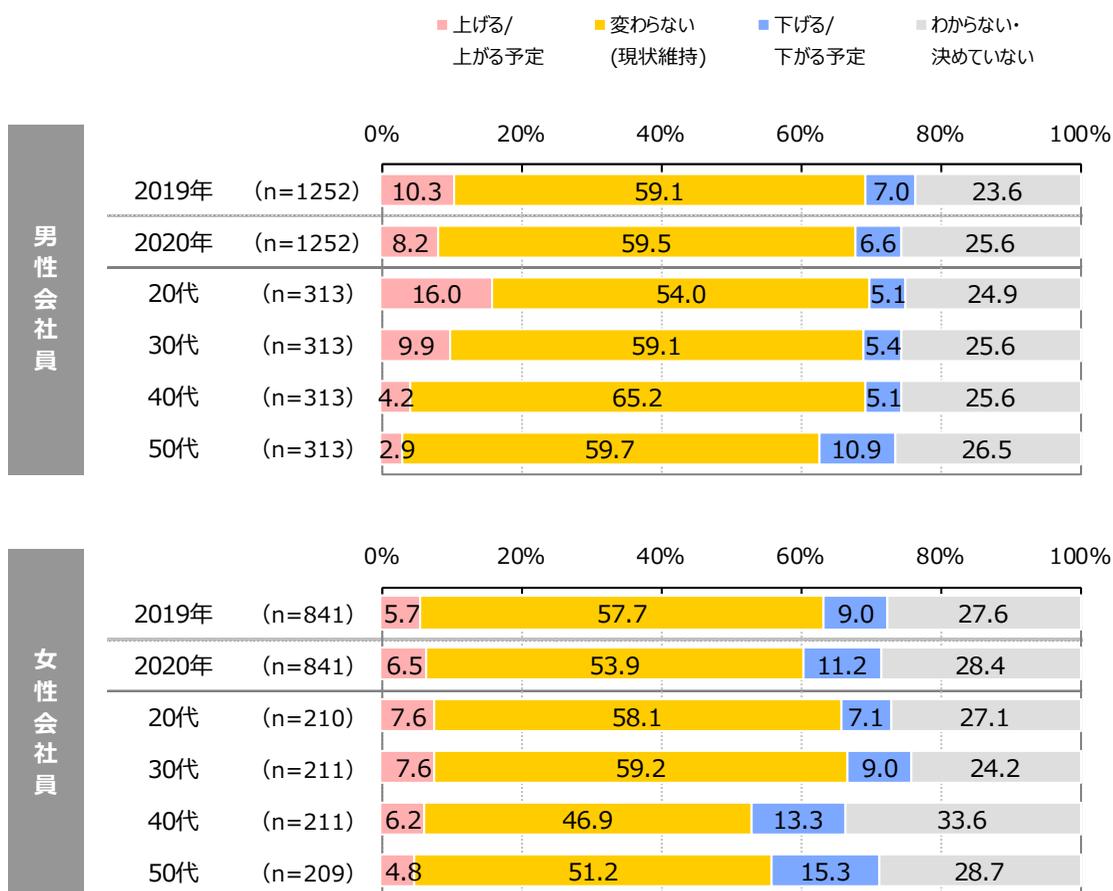


■ お小遣いアップの可能性

男性社員における、今後のお小遣い額の予定は、「変わらない(現状維持)」が59.5%を占めます。「上げる/上がる予定」は8.2%、「下げる/下がる予定」は6.6%と、昨年と比較して、「上げる/上がる予定」、「下げる/下がる予定」ともにやや低い傾向にあります。年代別に見ると、若年の方ほど「上げる/上がる予定」が高い傾向にあります。一方、「下げる/下がる予定」については50代が最も高くなっています。

女性社員も、男性社員同様、変動のある層は限定的です。ただし、男性社員と比べて、どの年代でも「下げる/下がる予定」が高い点が特徴です。

設問：あなたの“おこづかい”は、今後アップする可能性がありますか？



【2】サラリーマンの昼食事情

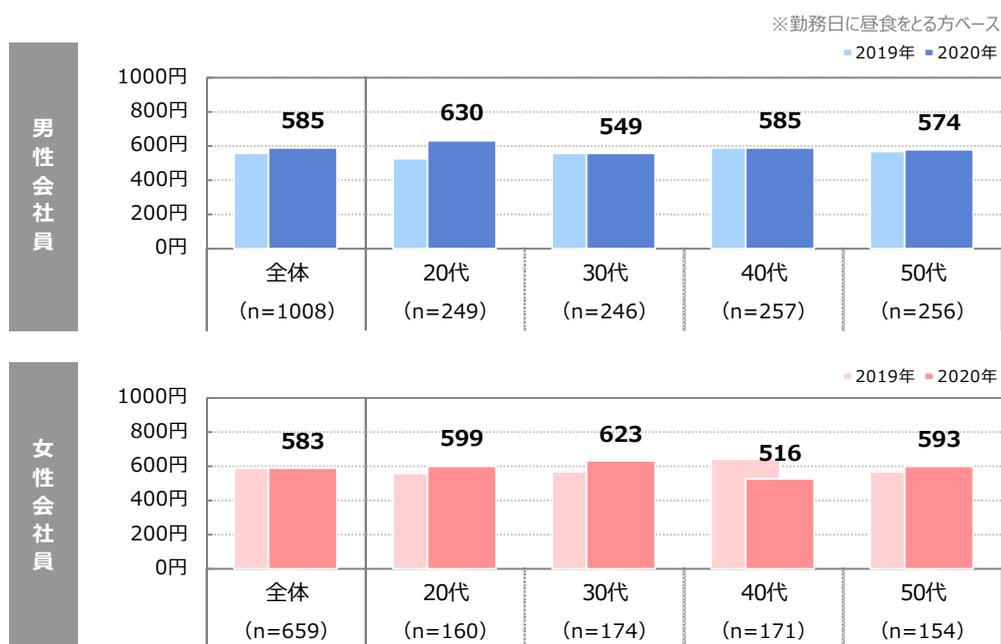
- ▶ 男性会社員の昼食代は585円となり昨年の555円とほぼ同水準、女性会社員は昨年より2円微増し583円となり、男女ほぼ同額の昼食代となる
- ▶ 男性・女性会社員ともに持参弁当の割合が最も高く、男性で3割半ば、女性で約半数を占める
- ▶ 昼食にかける平均時間では、男性会社員の22分に対し、女性会社員は29分と男性よりやや長い傾向

■ 一日の平均昼食代

男性会社員の一日の昼食代は、昨年の555円から30円増加し、585円となりました。年代別に見ると、20代で100円以上の増加となっています。

女性会社員の一日の昼食代は、昨年の581円から2円微増し、583円となりました。年代別に見ると、40代で637円から516円に100円以上減少していますが、その他の年代では増加傾向となっています。

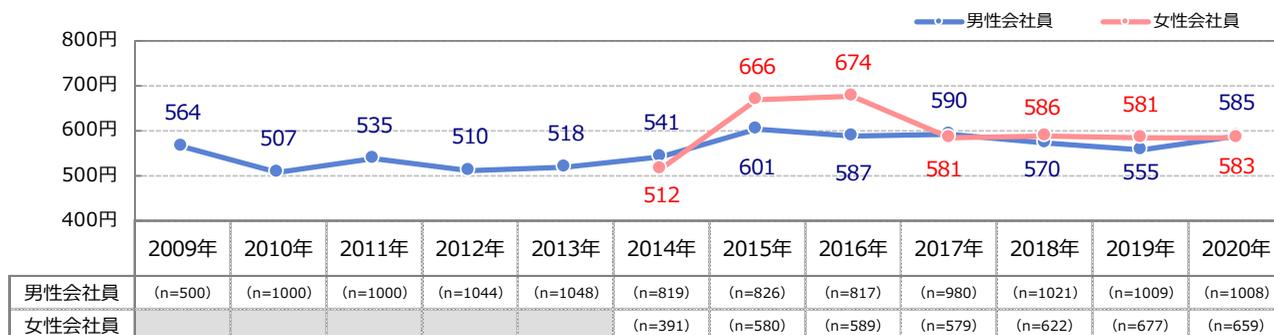
設問：あなたの昼食代(勤務日)は平均すると一回いくらですか？(弁当持参時を除く)



男性会社員における直近の昼食代の傾向は、昨年より30円増加し、2017年と同水準となっています。

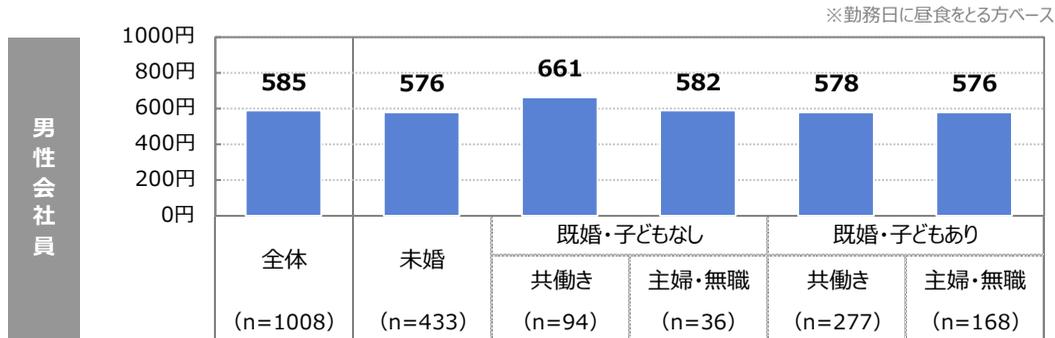
一方、女性会社員の平均昼食代は、昨年より2円微増しており、2017年以降大きく変化は見られません。

■ 平均昼食代の時系列推移(2009年～2019年)



男性会社員の一日の昼食代をライフステージ別に見ると、DINKS世帯(既婚・子どもなし・共働き)が661円と最も高い金額となっています。

設問：あなたの昼食代(勤務日)は平均すると一回いくらですか？(弁当持参時を除く)

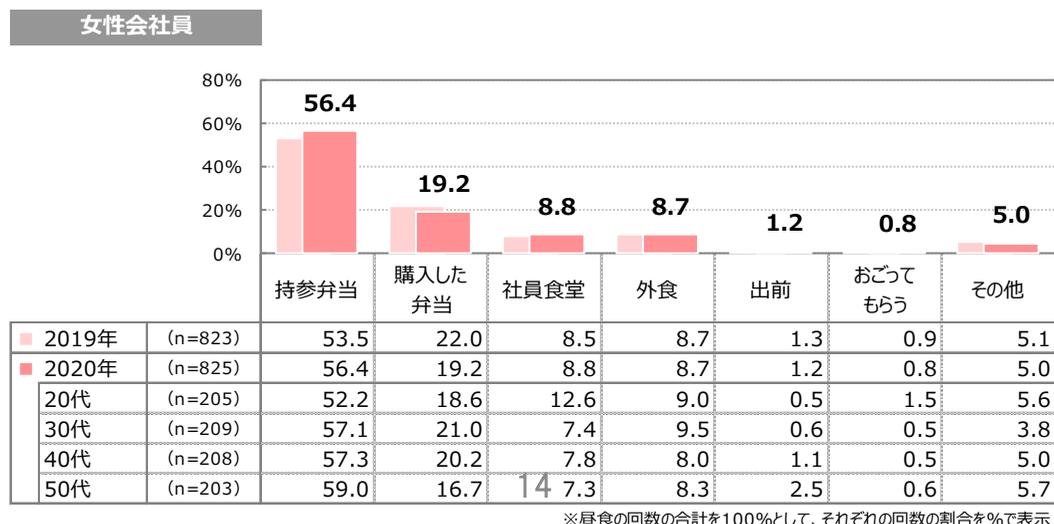
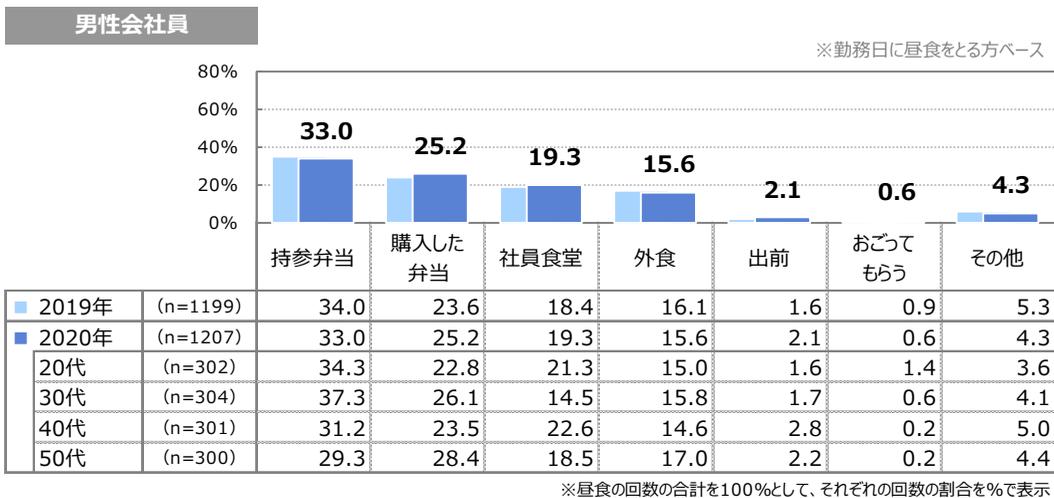


■ 昼食の内訳

男性会社員における、昼食の内訳トップ3は、「持参弁当」33.0%、「購入した弁当」25.2%、「社員食堂」19.3%の順で、昨年と比較して大きな変化は見られませんでした。

女性会社員では、「持参弁当」56.4%、「購入した弁当」19.2%、「社員食堂」8.8%、「外食」8.7%の順となっています。また、「社員食堂」、「外食」が男性よりも低く、「持参弁当」が高いことが特徴となっています。

設問：あなたの平均的な一週間の昼食(勤務日)のそれぞれの回数の内訳を教えてください。

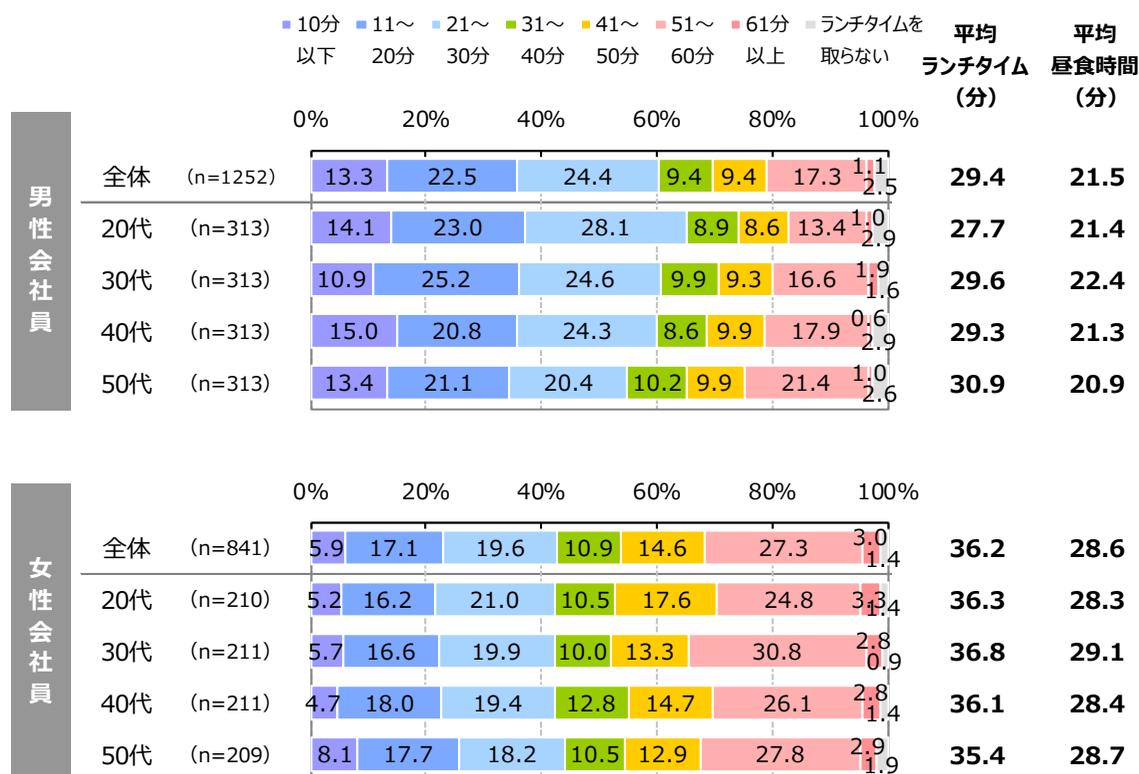


■ ランチタイムにかける時間

男性社員における、ランチタイム時間は平均29.4分。そのうち、昼食時間は平均21.5分となっています。なお、ランチタイム時間の回答は、「11～20分」と「21～30分」が2割以上と比較的多いです。また、年代別に見ると、50代で「51～60分」が2割強と割合が高い点の特徴です。

女性社員においては、「51～60分」が3割弱と多く、ランチタイム時間は平均36.2分、昼食時間は平均28.6分と、男性社員よりやや長い傾向が見られます。

設問：ランチタイム(昼食を含む勤務日のお昼休憩時間)にかける時間は平均して、どのくらいですか。
 昼食(勤務日)にかける時間は平均して、どのくらいですか。



■ ランチタイムの過ごし方

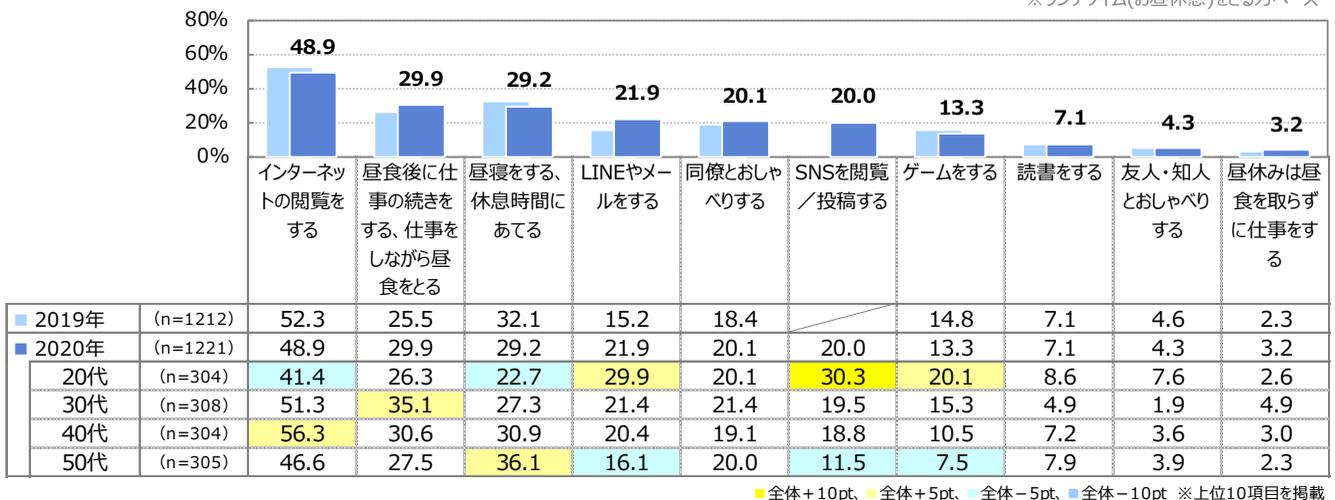
男性社員における、ランチタイムの過ごし方トップ3は、「インターネットの閲覧」48.9%、「仕事の続き/仕事をしながら」29.9%、「昼寝や休息」29.2%となっています。昨年と比較して、「LINEやメールをする」が5pt以上高くなっています。特に20代では「LINEやメールをする」「SNSを閲覧/投稿する」がともに3割と高い点が特徴です。

女性社員においても、男性同様、「インターネットの閲覧」55.4%がトップになっています。しかし、「LINEやメールをする」41.7%、「同僚とおしゃべり」33.5%、「SNSを閲覧/投稿する」30.9%が続いており、男性社員とやや異なる傾向にあることが分かります。また、年代別では、30代以下で「LINEやメールをする」が5割前後、「SNSを閲覧/投稿する」が4割以上と高い点が特徴的です。

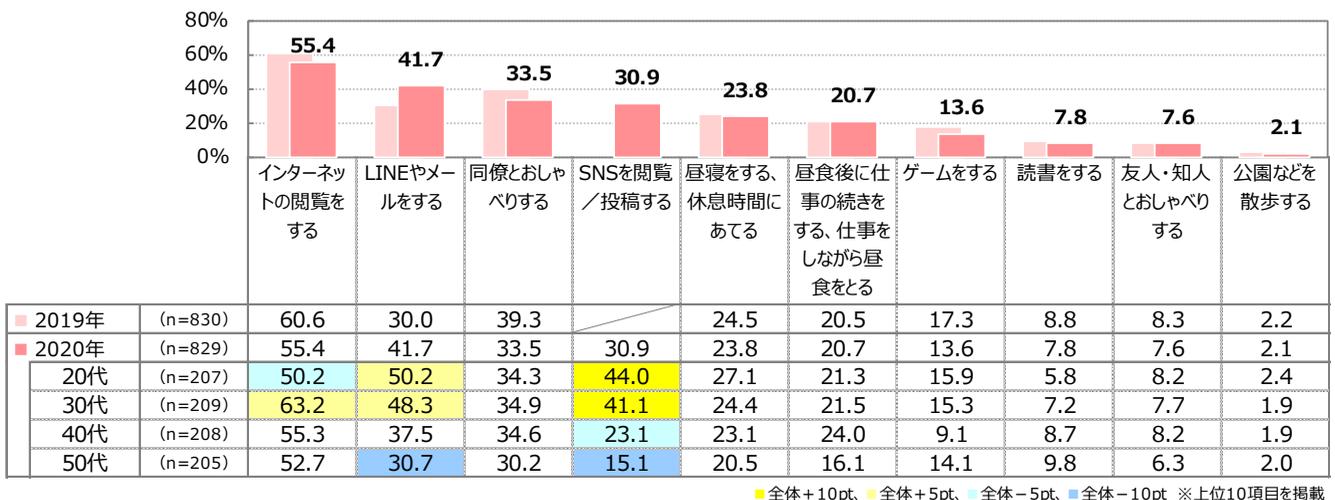
設問：あなたの「ランチタイムの過ごし方」として、あてはまるものを、全てお答えください。

男性社員

※ランチタイム(お昼休憩)をとる方ベース



女性社員



【3】サラリーマンの飲み事情

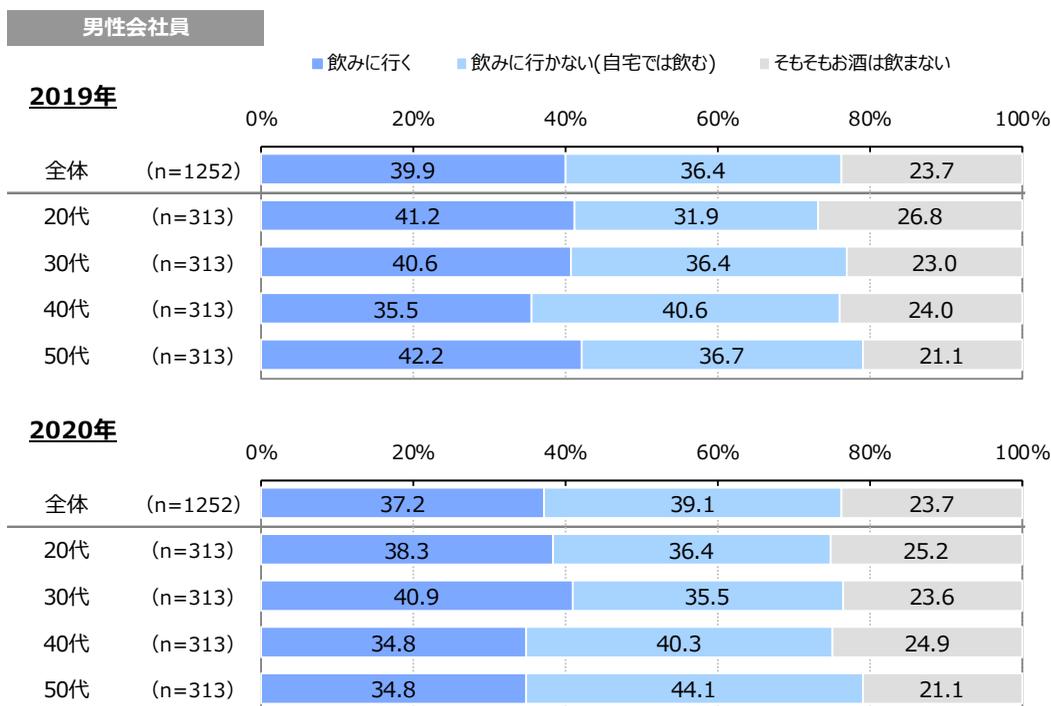
- 昨年と比べて飲酒している男性社員の割合はほぼ同じで、仕事後の外、自宅含めた飲酒は76.3%となり、「お酒を飲まない人」は23.7%と約4人に1人は飲酒しない状況
- 男性社員の1回の飲み代は5,232円、女性社員の1回の飲み代は4,196円
- 1カ月の飲み代は、男性社員は前年より1,555円減り11,620円、女性社員は1,028円減り8,455円に(※飲み行く方ベース比較、20ページ参照)

■ 仕事後の飲酒状況と1回あたりの飲み代

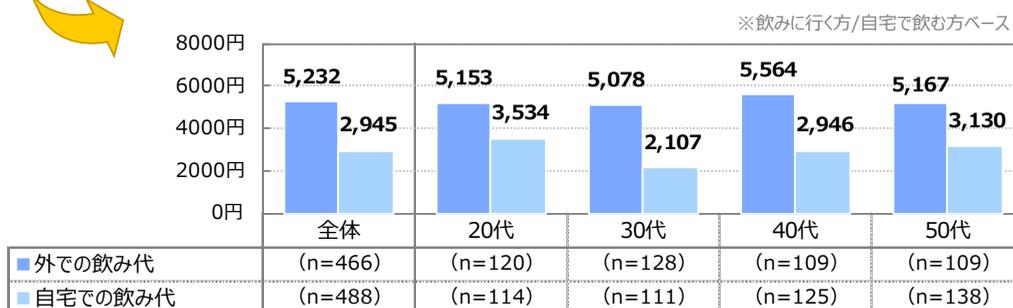
男性社員における、仕事終わりの飲酒状況は、「飲みに行く」が37.2%、外には飲みに行かないものの自宅では飲む、「飲みに行かない(自宅では飲む)」が39.1%を占めており、飲酒している方は76.3%にのびります。年代別では、30代以下で「飲みに行く」が高い傾向が見られます。

外に飲みに行く方と自宅で飲む方の、1回あたりの飲み代を比較すると、外での飲み代が平均5,232円に対し、自宅での飲み代が平均2,945円と、2,287円の開きが見られます。年代別で見ると、外での飲み代は40代が5,564円で最も高いのに対し、自宅での飲み代は20代が3,534円と最も高くなっています。

設問：仕事が終わった後、一カ月で平均何回くらいお酒を飲みに行きますか？
あなたの飲み代は平均すると一回いくらですか？

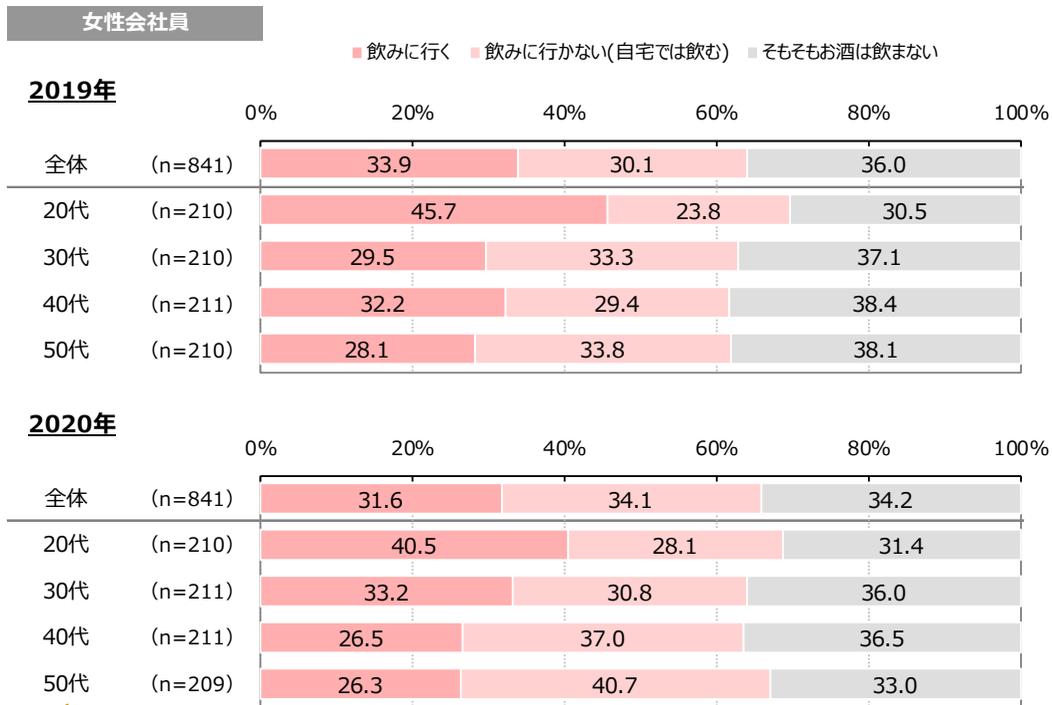


1回の平均飲み代は・・・？

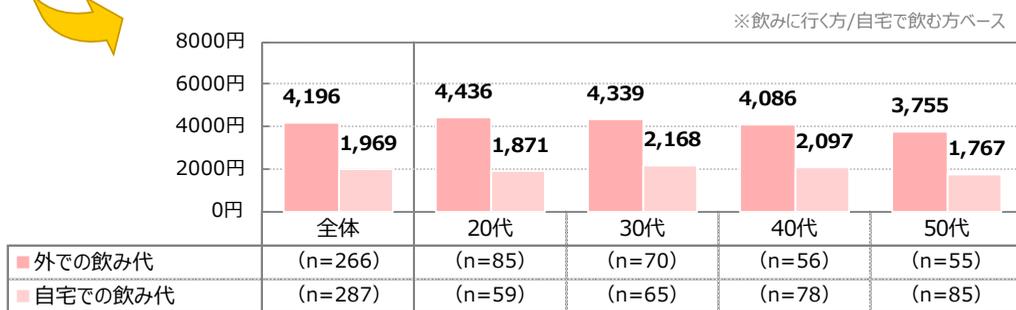


女性社員における、仕事終わりの飲酒状況は、「飲みに行く」が31.6%を、外には飲みに行かないものの自宅では飲む、「飲みに行かない(自宅では飲む)」は34.1%を占めており、飲酒している方は65.8%となっています。昨年と比較して、「飲みに行かない(自宅では飲む)」の割合が増えています。

外に飲みに行く方と自宅で飲む方の、1回あたりの飲み代を見ると、外での飲み代が平均4,196円に対し、自宅での飲み代が平均1,969円と、2,227円の開きが見られます。また、性年代別では、若年層ほど外での飲み代が高い点の特徴です。



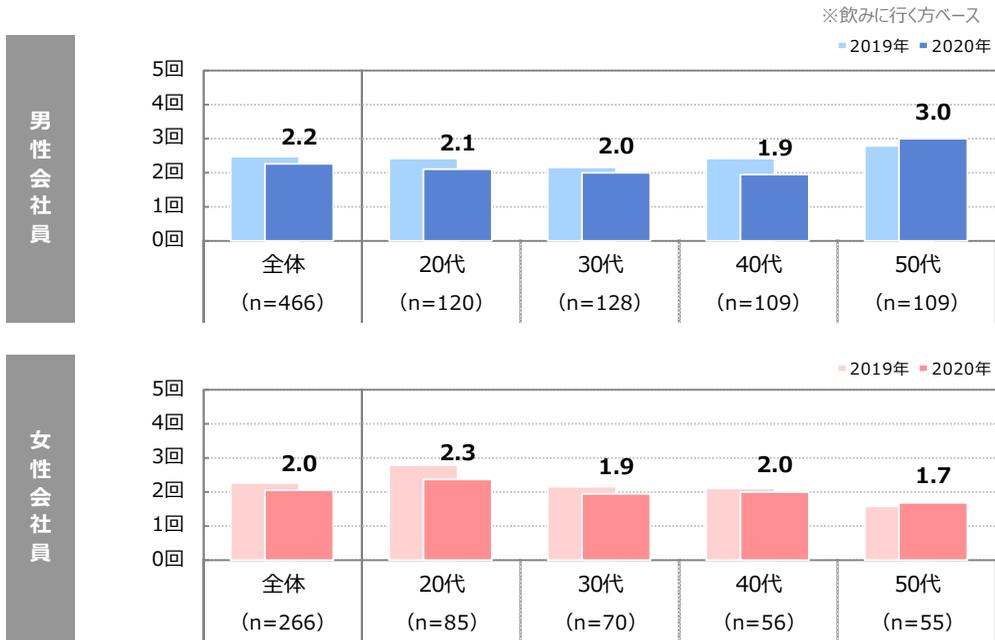
1回の平均飲み代は・・・？



■ 1カ月の飲み回数 ※飲みに行く方/自宅で飲む方ベース

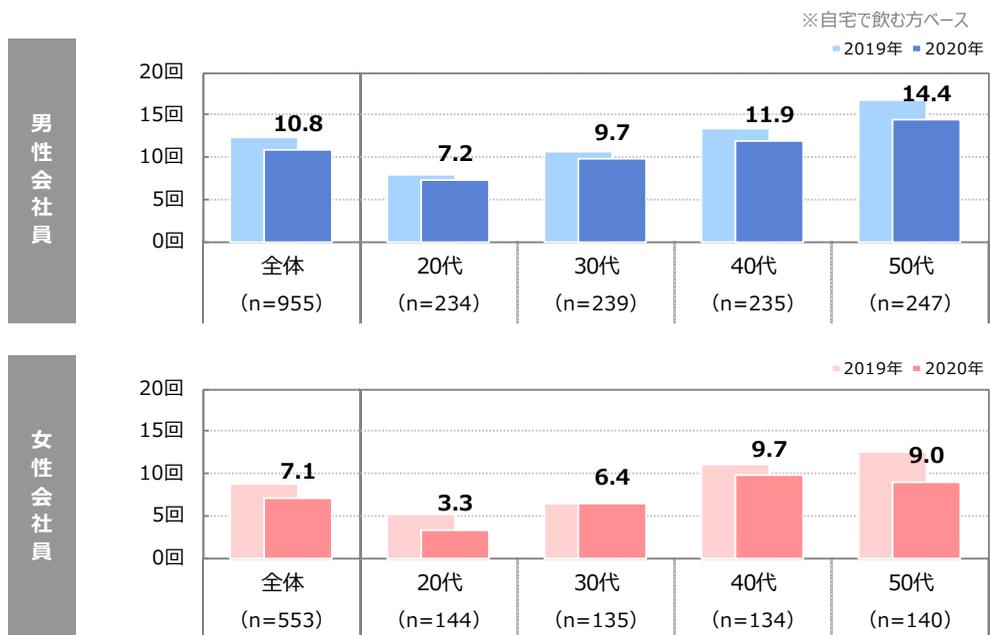
男性会社員の1カ月の平均外飲み回数は2.2回、女性会社員は2.0回と、どちらも昨年からやや減少しました。年代別に見ると、男性会社員は、唯一、50代で飲み回数が増加していますが、その他の年代ではいずれも減少しています。また、女性会社員も同様の傾向となっており、50代のみ僅かながら増加しています。

設問：仕事が終わった後、一ヶ月で平均何回くらいお酒を飲みに行きますか？



1ヶ月の自宅での飲みの回数の平均は、男性会社員が10.8回、女性会社員が7.1回と、昨年より減少しています。年代別に見ると、男性会社員、女性会社員ともに50代が最も減少しています。

設問：1ヶ月あたり平均何回くらい自宅でお酒を飲みますか？

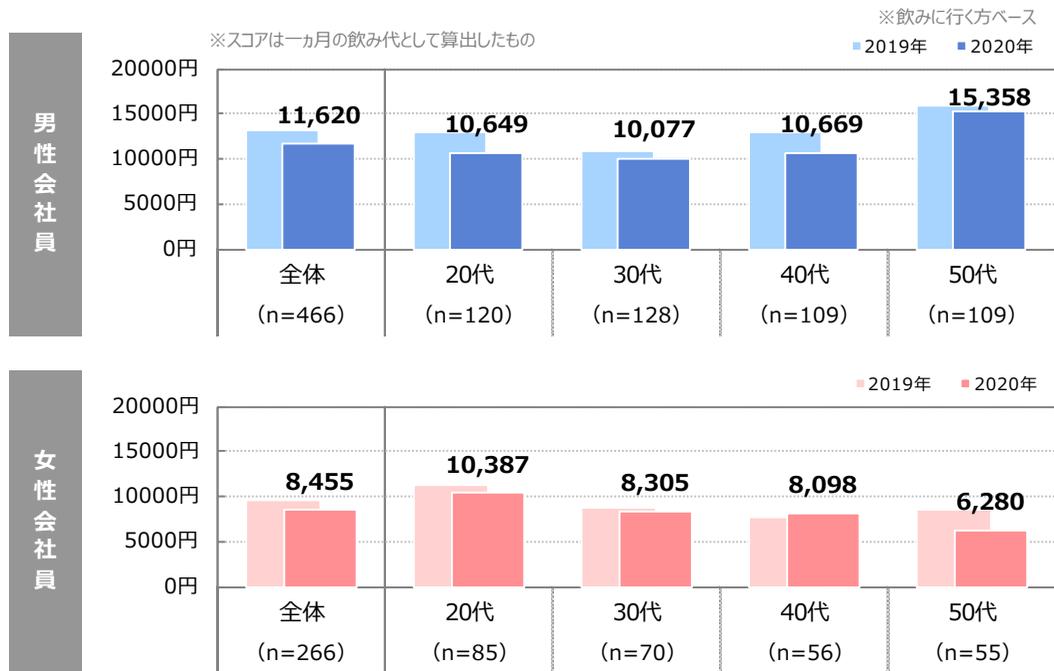


■ 1カ月の飲み代 ※飲みに行く方ベース

1回の飲み代と1カ月の飲み回数から算出した男性社員の1カ月の飲み代は、昨年より1,555円減少し、11,620円となりました。年代別に見ると、いずれの年代でも昨年より減少しています。

女性社員は、男性社員より3,165円低い8,455円という結果になりました。年代別に見ると、50代で昨年より大幅に減少している点が特徴的です。

設問：仕事が終わった後、一カ月に平均何回くらいお酒を飲みに行きますか？
あなたの飲み代は平均すると一回いくらですか？



【4】働き方改革によるお小遣いの使い方・やりくりの変化

- 男性会社員では、「職場で働き方改革があった」と回答した人は昨年より8.5pt増え56.0%と半数を超えた
- 働き方改革の内容としては、「残業が減った」が54.2%、「有給が取りやすくなった」が41.4%、「定時で帰宅できる日数が増えた」が24.5%と続く。「テレワークで働くようになった」は5,001人以上の会社規模では3割を超える
- 働き方改革により増えた支出として、「趣味の費用・娯楽」11.6%、「食費」11.0%、「子どもの教育費」10.3%があがり、減った支出として「飲み代」32.4%が挙がる

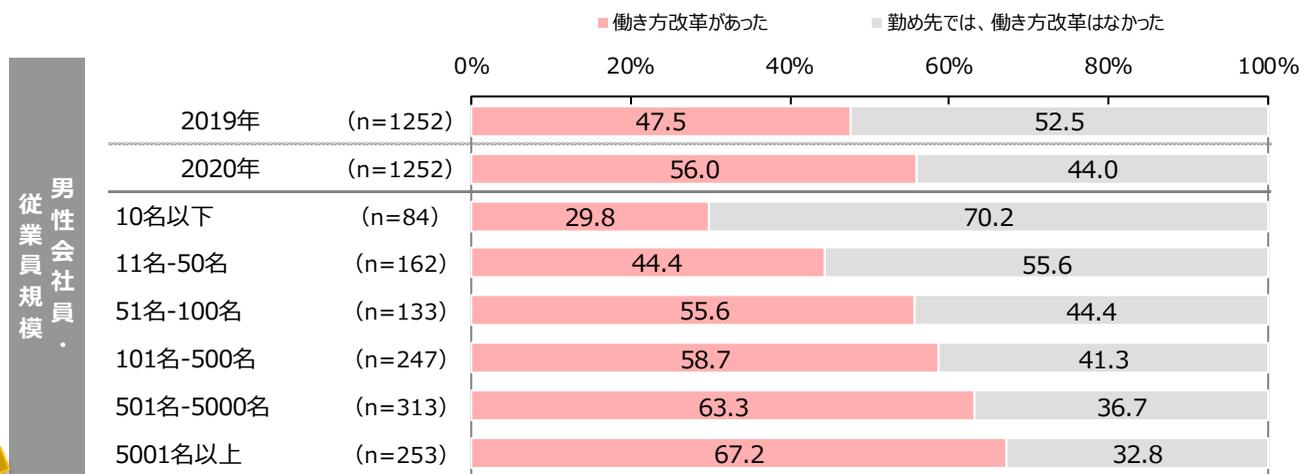
■ 働き方改革の有無

2019年4月より働き方改革関連法案が施行され、1年が経過しました。企業の働き方改革の浸透度合いが注目されていますが、企業の働き方改革により、会社員のお小遣いにどのような影響があったのでしょうか。

男性会社員における、働き方改革の有無は、56.0%が「働き方改革があった」と回答しており、昨年よりも8.5pt増加しています。従業員規模別で見ると、従業員規模が大きいほど、働き方改革があった方が多い傾向が見られます。

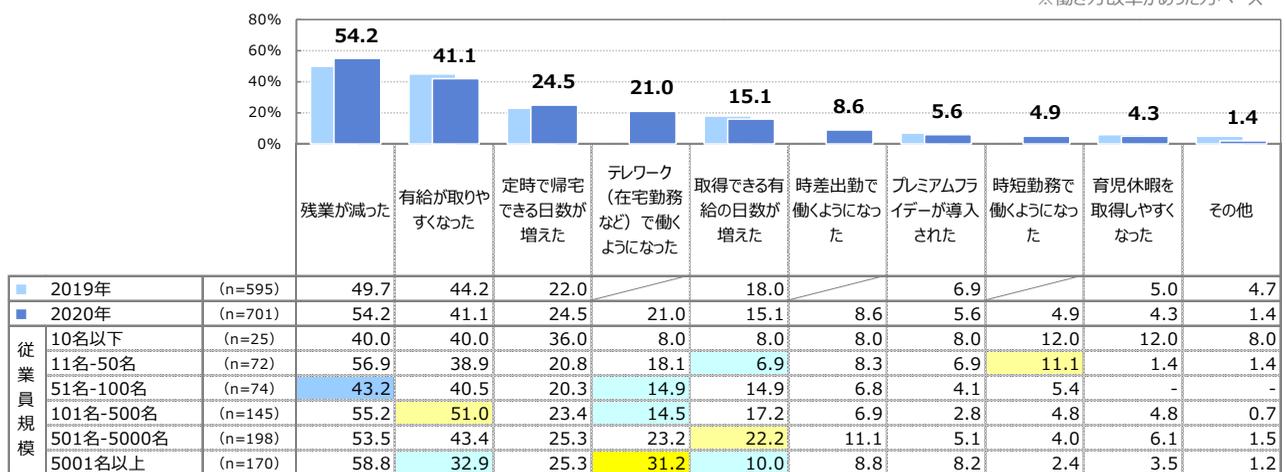
働き方改革があった人における働き方改革の内容は、「残業が減った」が54.2%で最も高く、「有給が取りやすくなった」41.1%、「定時で帰宅できる日数が増えた」24.5%、「テレワーク」21.0%が続く結果となっています。昨年と比較して、「残業が減った」が5pt増加している点が特徴です。

設問：あなたのお勤め先では、直近1年間の間に下記に挙げるような働き方改革がありましたか。



働き方改革の内容

男性会社員



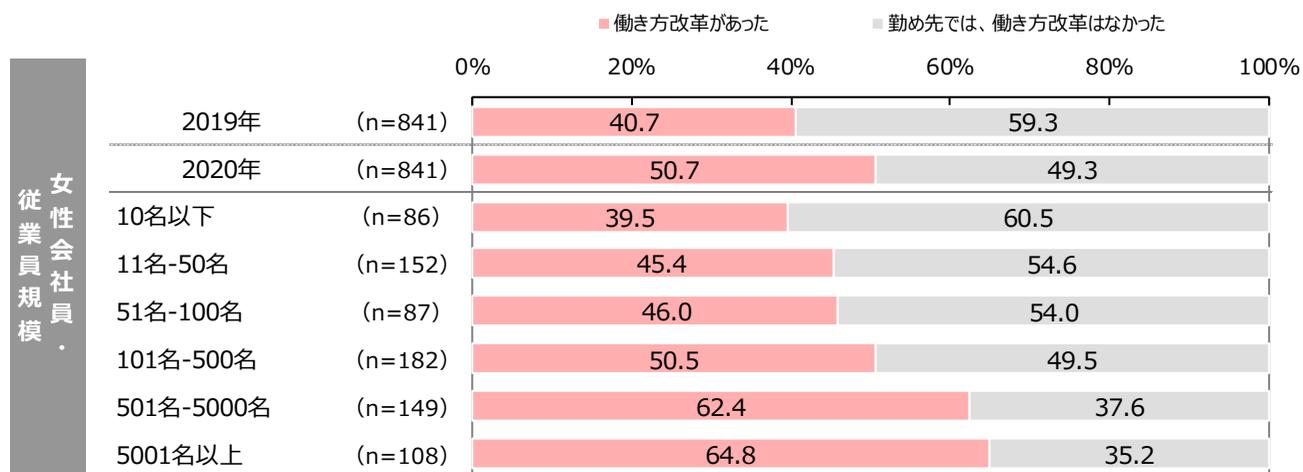
■全体+10pt ■全体+5pt ■全体-5pt ■全体-10pt

※n=30未満は参考値として掲載

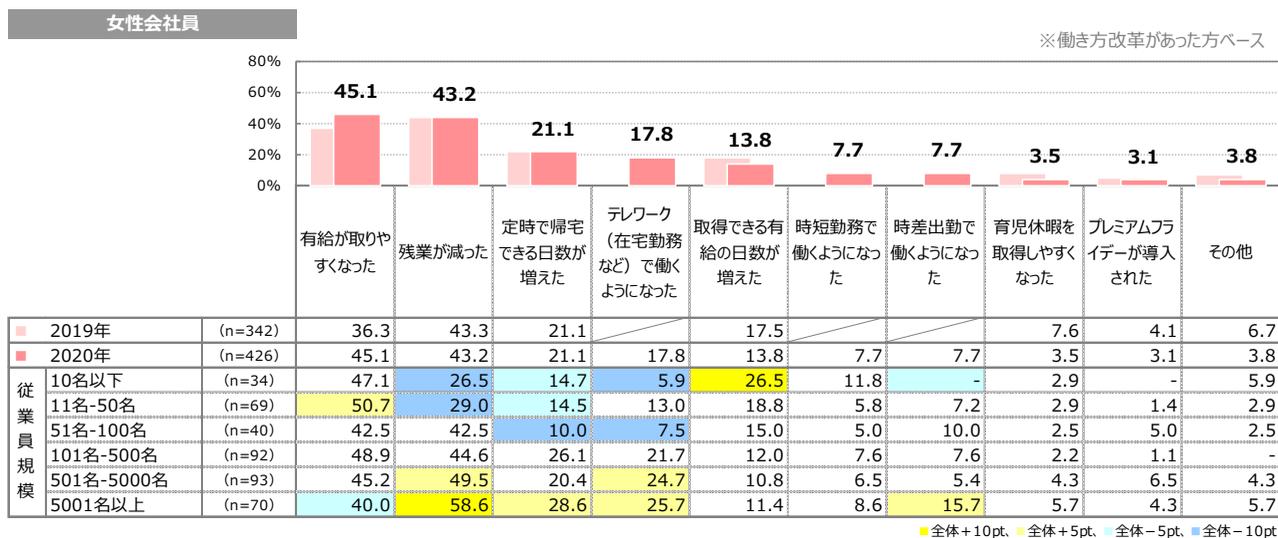
女性社員における、働き方改革の有無は50.7%が「働き方改革があった」と回答しており、昨年よりも10pt増加しています。

働き方改革の内容は、「有給が取りやすくなった」が45.1%で最も高く、「残業が減った」43.2%、「定時で帰宅できる日数が増えた」21.1%が続く結果となりました。昨年と比較して、「有給が取りやすくなった」が9pt増加している点の特徴です。

設問：あなたのお勤め先では、直近1年間の間に下記に挙げるような働き方改革がありましたか。



働き方改革の内容



※n=30未満は参考値として掲載

■ 働き方改革による支出や残業代の変化

次に、働き方改革があった方の、働き方の変化による支出や残業代への影響を見ていきます。

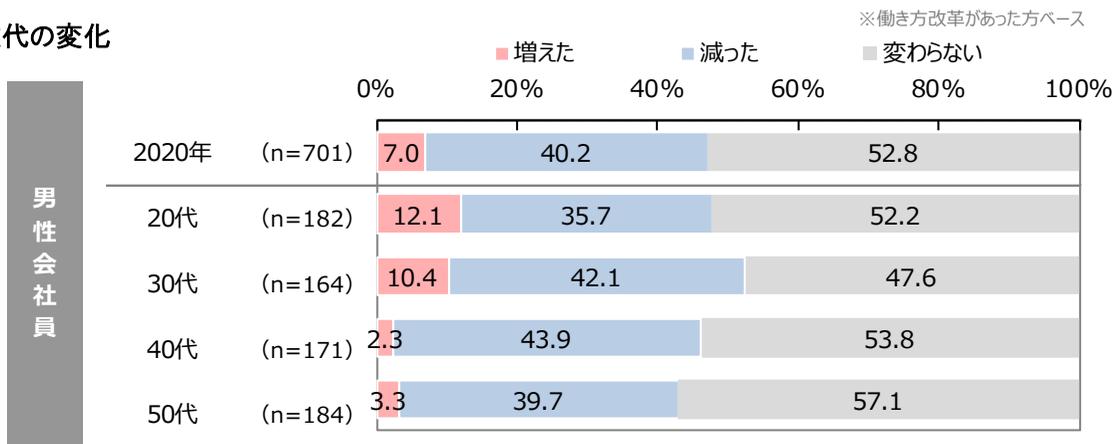
まず、残業代の変化については、男性社員では、4割の方が、「減った」と回答しており、「増えた」との回答は1割未満にとどまります。「増えた」との回答は少ないものの若年層ほど高い傾向となっています。

支出が増えたものは、「趣味の費用」が11.6%で最も高く、「食費」11.0%、「子供の教育関連の費用」10.3%と続いています。

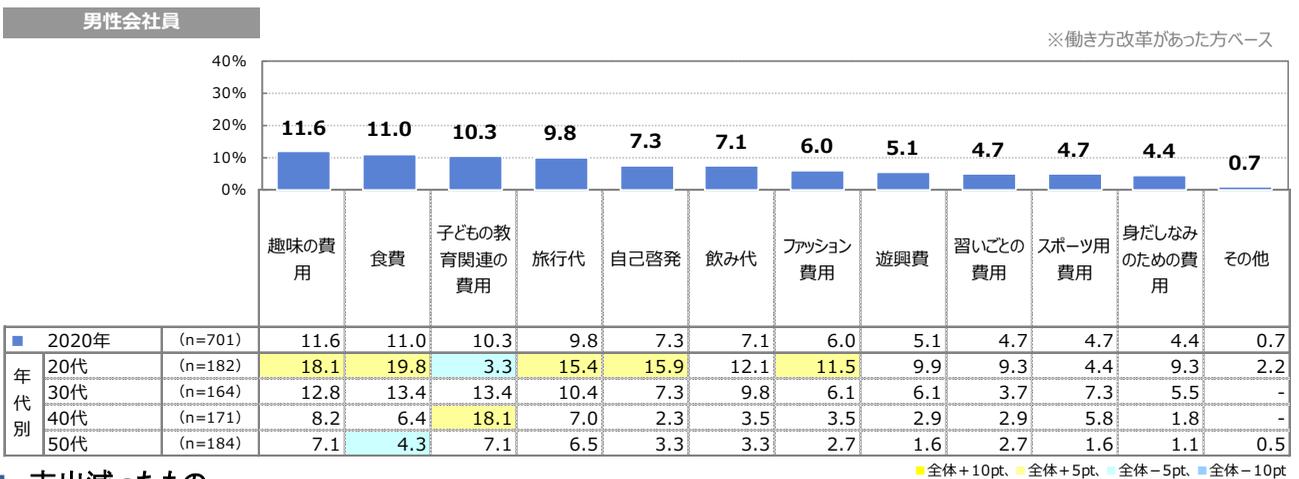
一方、支出が減ったものは、「飲み代」が32.4%で突出しており、「ファッション費用」23.4%、「旅行代」22.3%と続いています。

設問：働き方が変わったことによって、以下の項目の支出や残業代に変化はありましたか。

■ 残業代の変化



■ 支出増えたもの



■ 支出減ったもの



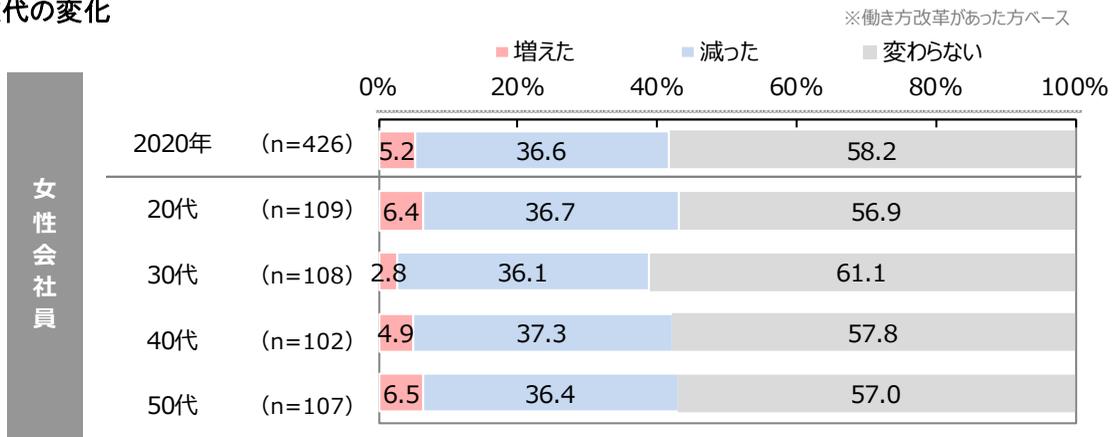
女性社員では、残業代の変化について、3割半ばの方が、「減った」と回答しており、「増えた」との回答は1割未満にとどまります。

支出が増えたものは、「食費」と「旅行代」が13.4%で最も高く、「身だしなみのための費用」11.5%、「子供の教育関連の費用」11.3%と続いています。

一方、支出が減ったものは、「飲み代」が29.1%と最も高く、「ファッション費用」26.1%、「身だしなみのための費用」22.1%と続いています。

設問：働き方が変わったことによって、以下の項目の支出や残業代に変化はありましたか。

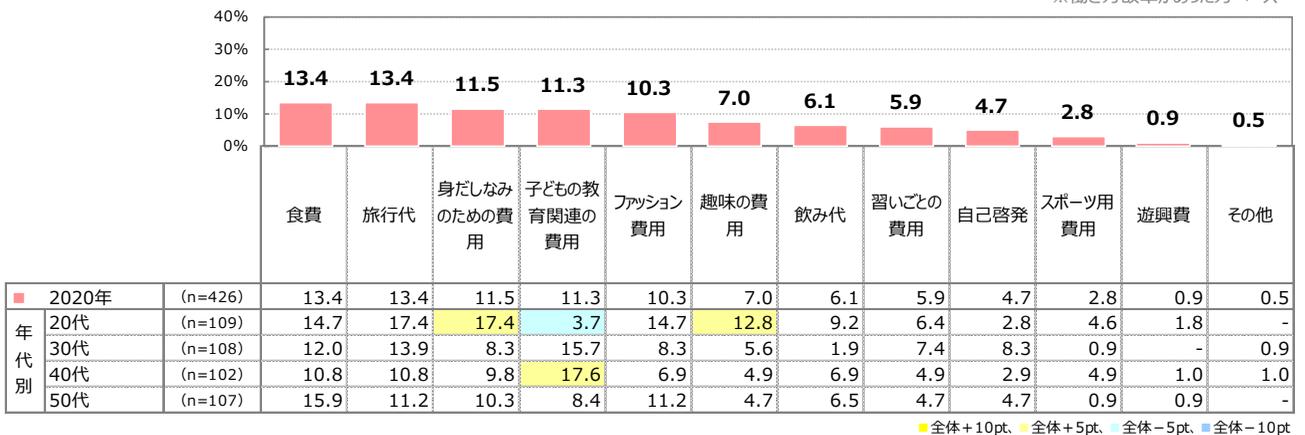
■ 残業代の変化



■ 支出増えたもの

女性社員

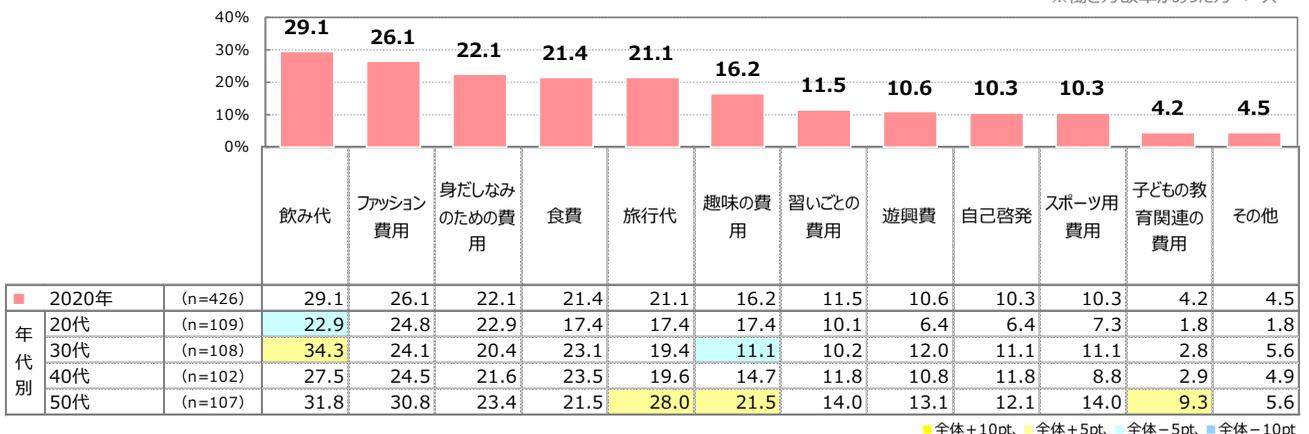
※働き方改革があった方ベース



■ 支出減ったもの

女性社員

※働き方改革があった方ベース



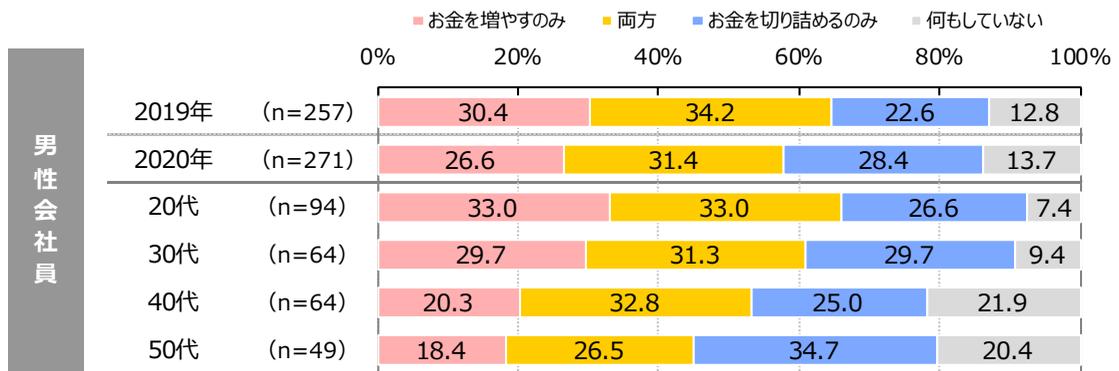
■ 支出が増えた分の賄い方

では、支出が増えた方は、増えた分のお金をどのようにして賄っているのでしょうか。

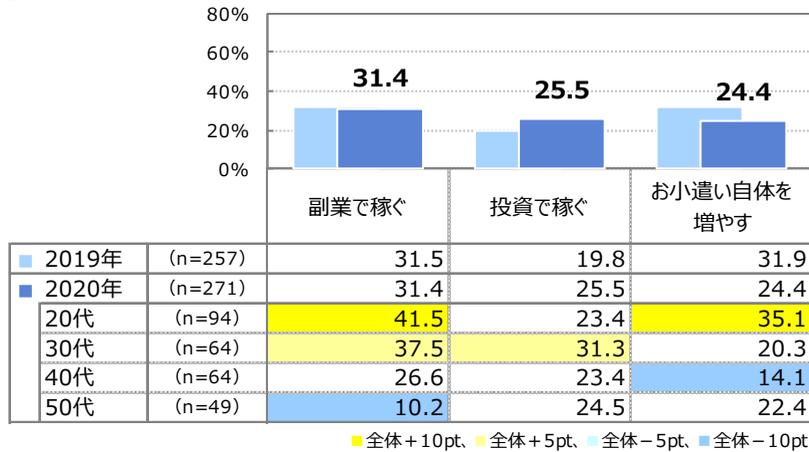
男性社員における、支出が増えた分の賄い方は、「お金を増やすのみ」が26.6%、「お金を切り詰めるのみ」が28.4%、「両方」行っている方が31.4%となっており、8割半ばの方が何かしらの行動をしています。お金を増やす方法では、「副業で稼ぐ」が31.4%で最も高く、若年層ほど高い点が特徴的です。一方、お金を切り詰める方法では、「食費を切り詰める」が35.1%で最も高く、「飲み代」が28.8%と続くことから、飲食代で切り詰める傾向が見られます。

設問：支出が増えた／増える分を、どのように賄っていますか(賄う予定ですか)。

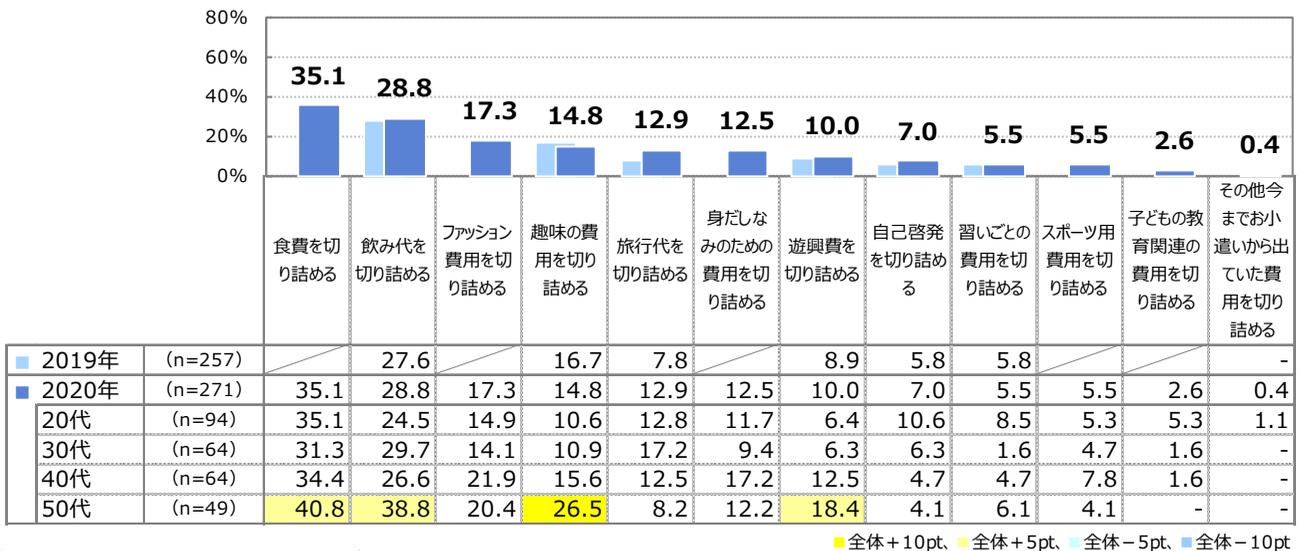
※働き方改革があったかつ支出が増えたものがある方ベース



■ お金を増やす方法



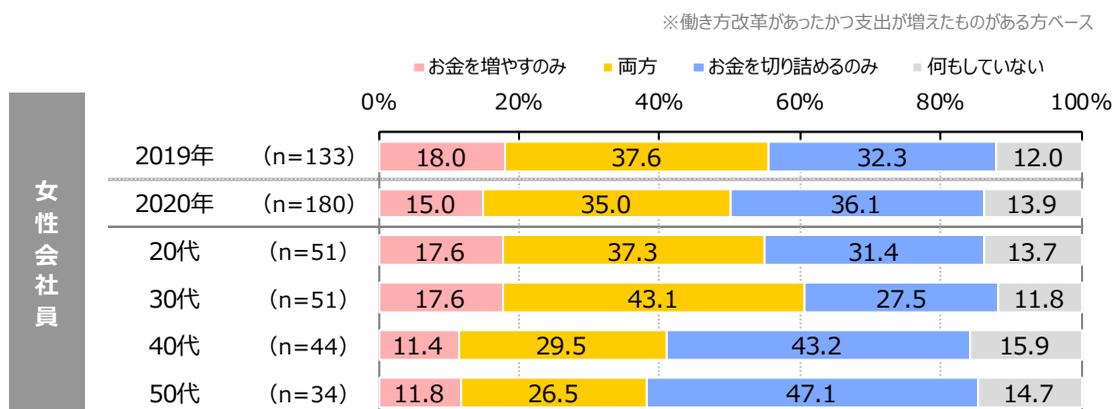
■ お金を切り詰める方法



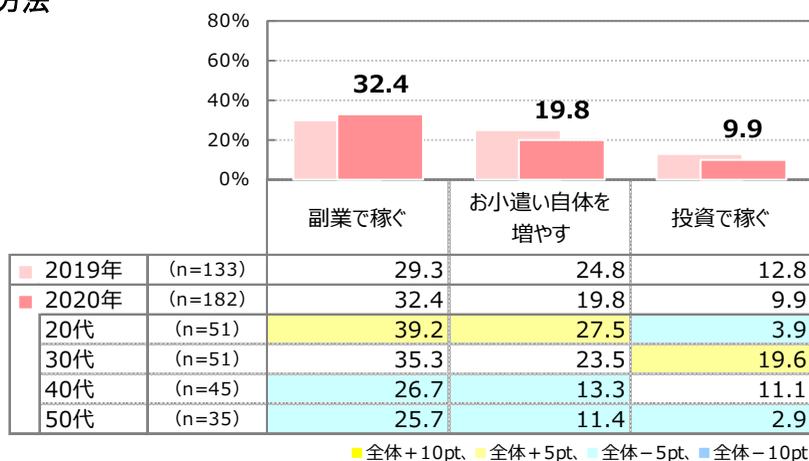
女性社員では、「お金を増やすのみ」が15.0%、「お金を切り詰めるのみ」が36.1%、「両方」行っている方が35.0%となっており、男性社員と比較して、「お金を切り詰める」方が多い傾向が見られます。

お金を増やす方法は、「副業で稼ぐ」が32.4%と最も高く、若年層ほど高い点が特徴的です。一方、お金を切り詰める方法は、「食費を切り詰める」が45.1%で最も高く、「ファッション費用を切り詰める」37.4%と続きます。男性社員と比較して、「ファッション」を切り詰める方が多い結果となっています。

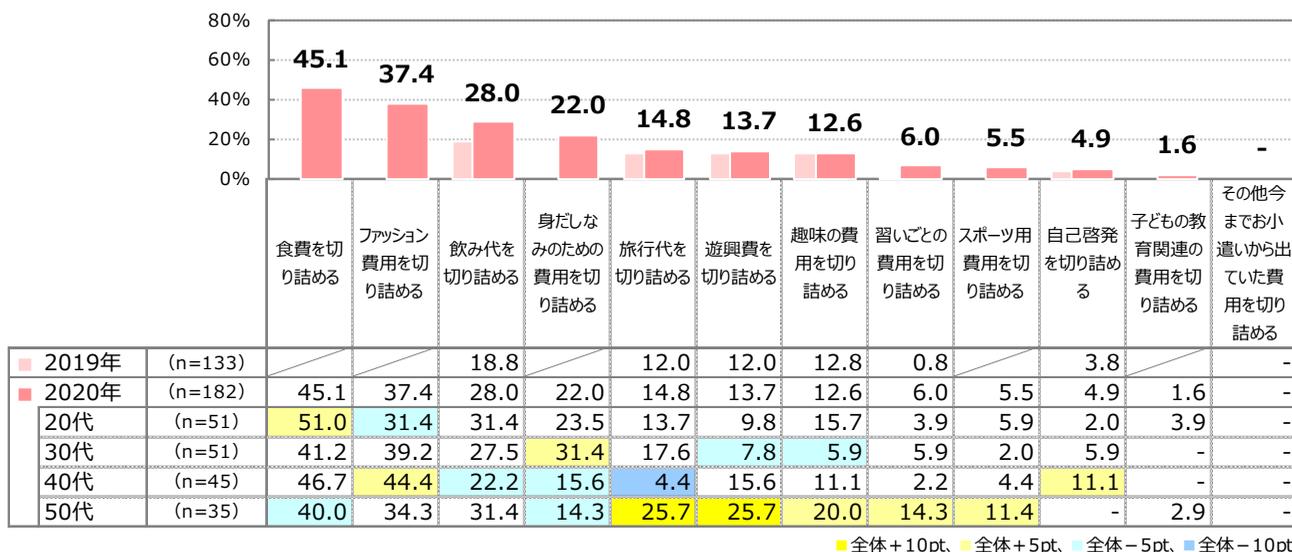
設問：支出が増えた／増える分を、どのように賄っていますか(賄う予定ですか)。



■ お金を増やす方法



■ お金を切り詰める方法



【5】消費税の負担感、経済的なゆとり

- ▶ 男性会社員では、消費税に負担を感じる人の割合が66.3%と昨年より約5pt減少するが、依然として高い水準
- ▶ 女性会社員では、消費税に負担を感じている人の割合が男性会社員より約7pt高い73.1%
- ▶ 消費税10%引き上げ後の行動として、男女ともに「キャッシュレス決済のポイント還元」が最も高く、男性会社員で2割後半、女性会社員で3割後半のスコア

■ 消費税によるお小遣いの負担感

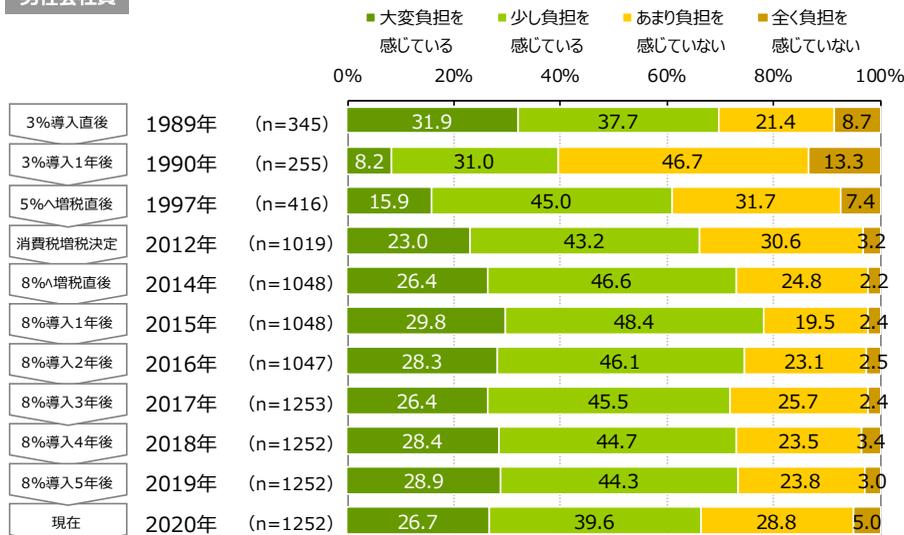
2019年10月1日より、消費税率が8%から10%に引き上げられました。増税から半年が経過し、お小遣い面での消費税による負担はどのように変化したのでしょうか。

男性会社員では、負担を感じている(「大変負担を感じている」+「少し負担を感じている」)層が66.3%と、昨年から5pt以上低下しています。

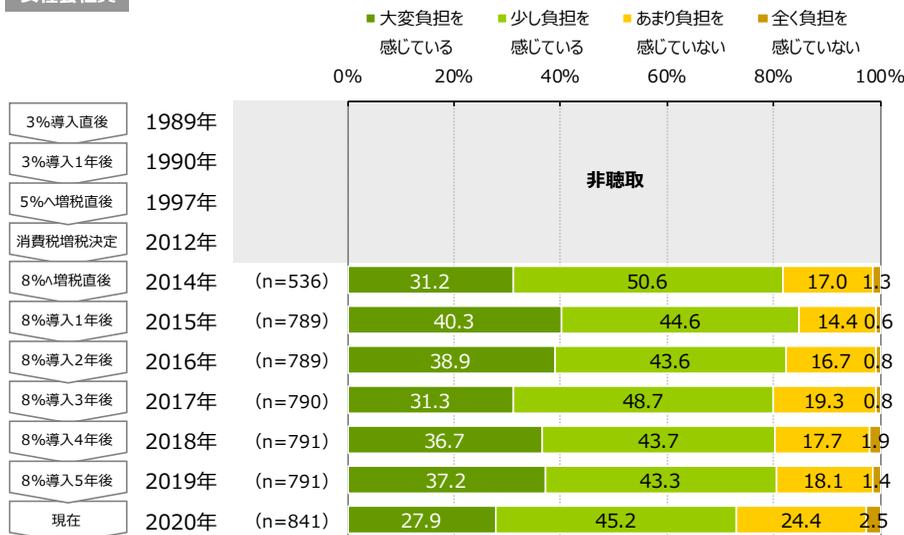
女性会社員では、負担を感じている(「大変負担を感じている」+「少し負担を感じている」)層が73.1%と、男性会社員と同様、昨年から5pt以上低下しています。

設問：あなたは、“おこづかい”の面で、消費税の負担を感じていますか。

男性会社員



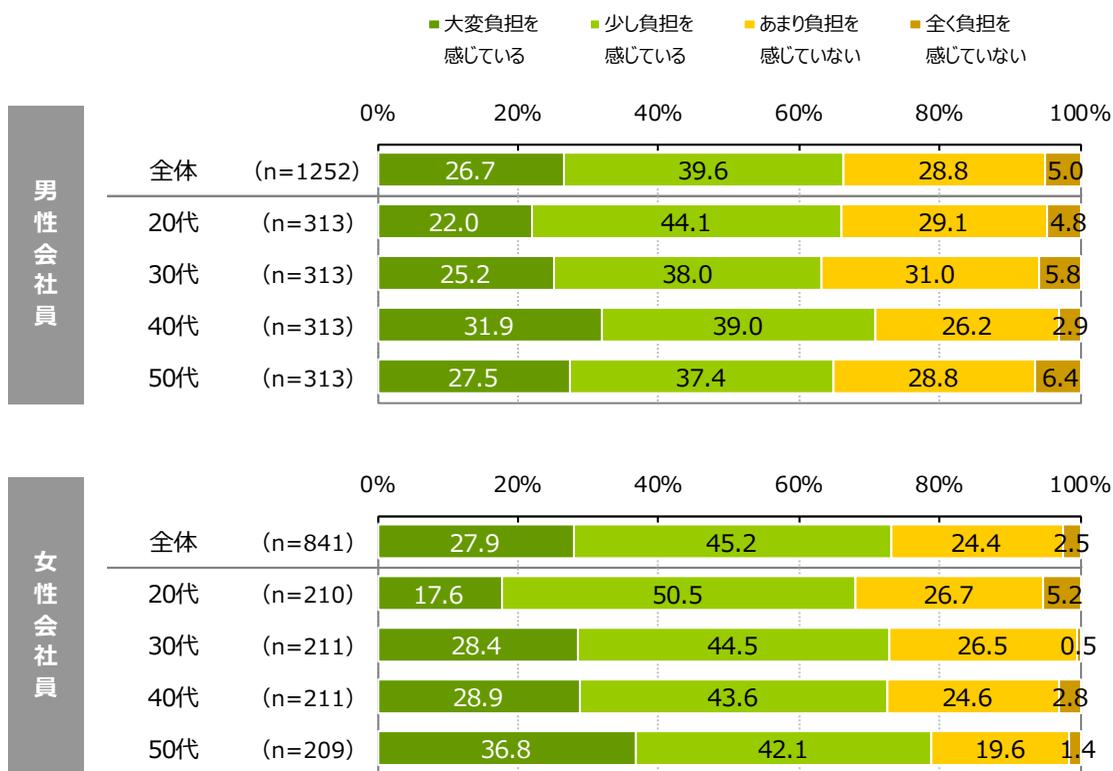
女性会社員



男性社員における消費税の負担感を、年代別に見ると、40代で「大変負担を感じている」層が3割を超えており、他の年代より高くなっています。

女性社員では、50代で「大変負担を感じている」層が4割弱と高くなっています。

設問：あなたは、“おこづかい”の面で、消費税の負担を感じていますか。



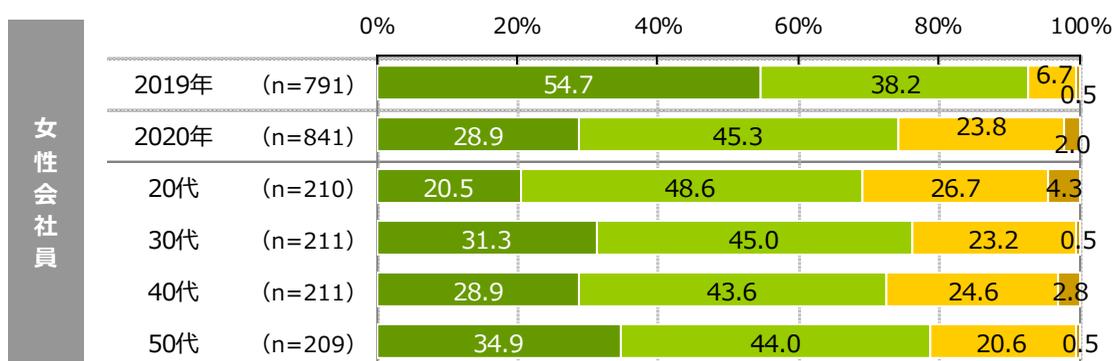
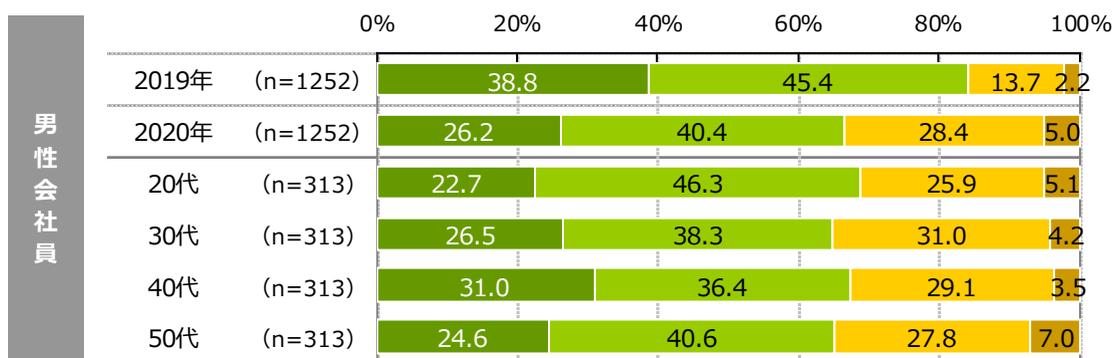
また、10%に引き上げられた消費税の負担感を聞くと、男性会社員では、負担を感じている(「大変負担を感じている」+「少し負担を感じている)層が66.6%となっています。

女性会社員では、負担を感じている(「大変負担を感じている」+「少し負担を感じている)層が74.2%と、男性会社員と比較して8pt高くなっています。男性会社員と比較して、女性会社員で消費税10%への引き上げがお小遣いにより大きな影響を与えている様子です。

設問：消費税が2019年10月から10%に引き上げられましたが、あなたは、“おこづかい”の面でどの程度負担を感じていますか。

※2019年は、負担に感じると思うかを聴取

■ 大変負担を感じている ■ 少し負担を感じている ■ あまり負担を感じていない ■ 全く負担を感じていない

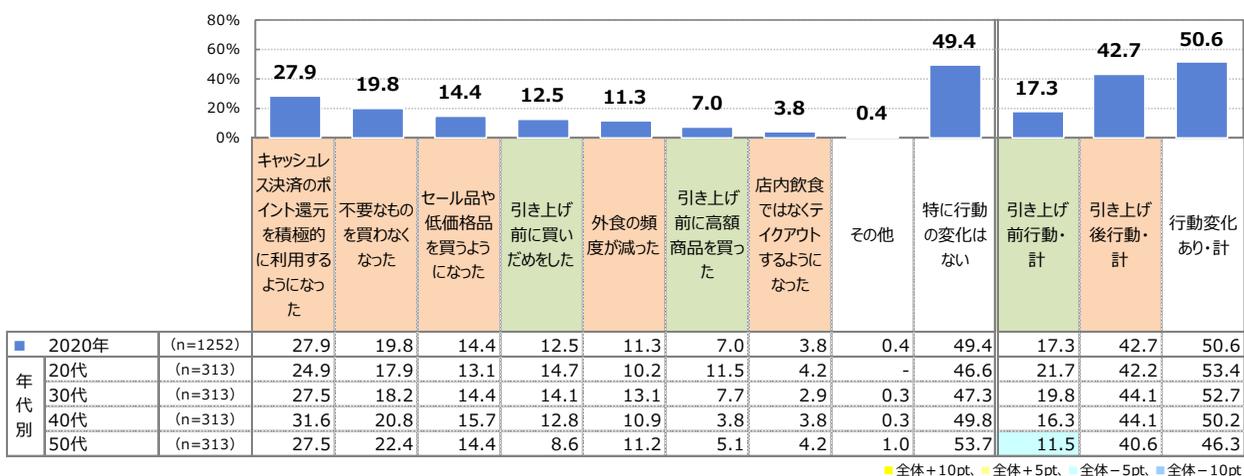


消費税が2019年10月から10%に引き上げられたことで行動に変化があったかを聞くと、男性会社員では、半数の方が行動に変化があったと回答しています。どのような変化があったかについては、「キャッシュレス決済のポイント還元を積極的に利用するようになった」が27.9%と最も高く、「不要なものを買わなくなった」19.8%、「セール品や低価格品を買うようになった」14.4%が続きます。

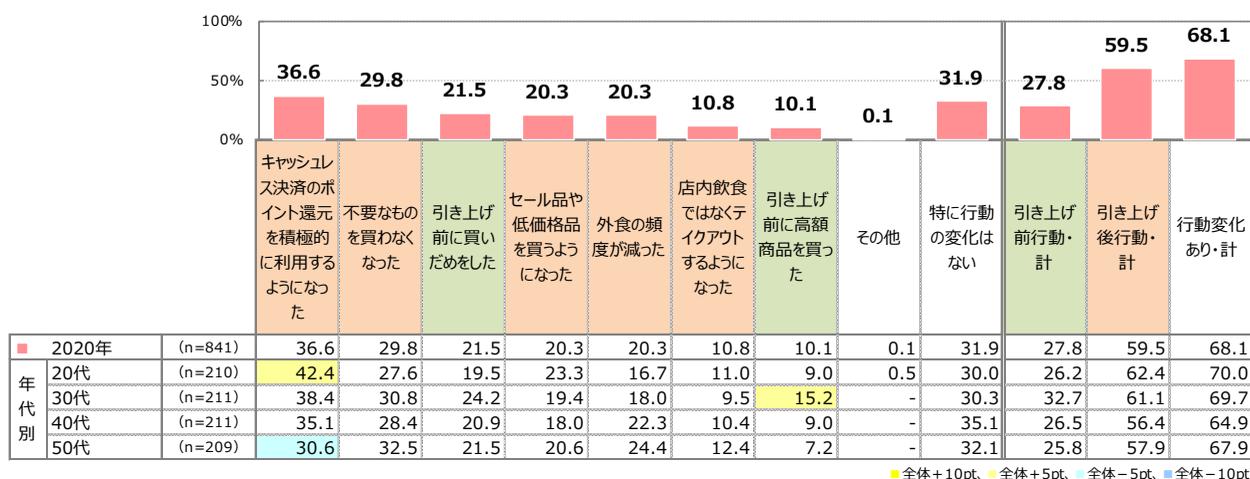
女性会社員は、7割弱の方が行動に変化があったと回答しており、男性会社員より行動変化があった割合が高いという結果になりました。どのような変化があったかについては、男性会社員と同様に「キャッシュレス決済のポイント還元を積極的に利用するようになった」が36.6%と最も高く、「不要なものを買わなくなった」29.8%、「引き上げ前に買いためをした」21.5%が続きます。

設問：消費税が2019年10月から10%に引き上げられましたが、あなたの行動の変化として当てはまるものをお答えください。

男性会社員



女性会社員



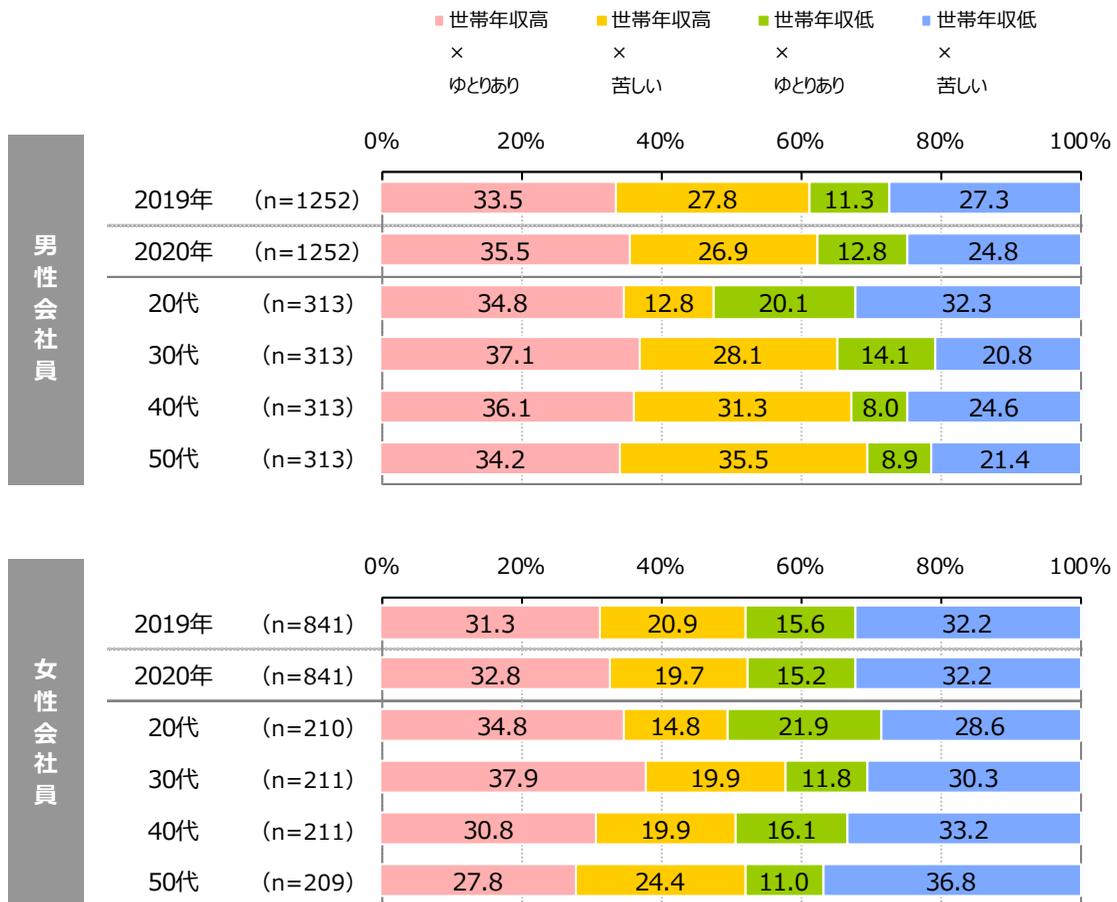
■ 経済的なゆとり

『世帯年収』と『日常生活のゆとり』から、経済的なゆとりを確認します。『世帯年収』は、500万円以上を“高”、500万円未満を“低”と定義し、『日常生活のゆとり』は、「大いにゆとりがある」+「まあまあゆとりがある」を“ゆとりあり”、「大変苦しい」+「やや苦しい」を“苦しい”と定義します。それぞれを掛け合わせ、経済的なゆとりにおいて、4層のグループを作成しました。

男性会社員では、昨年同様「世帯年収高×ゆとりあり」が35.5%と最も多く、「世帯年収高×苦しい」、「世帯年収低×苦しい」がそれぞれ2割台で続きます。昨年と比較すると、「世帯年収高×ゆとりあり」が微増しています。また、年代別に見ると、20代において「世帯年収低×苦しい」層が32.3%と他の年代よりも高くなっており、世帯年収が低く、苦しい生活となっている様子うかがえます。一方で、年代が上がるほど、「世帯年収高」層が増えますが、「世帯年収高×ゆとりあり」の割合は大きく変化せず、「世帯年収高×苦しい」層の割合が高くなっている点が特徴的です。

女性会社員では、「世帯年収高×ゆとりあり」と「世帯年収低×苦しい」がともに3割強とボリュームゾーンになっています。男性会社員と異なり、年代が上がるほど「世帯年収高×苦しい」の割合が高くなっている傾向が見られます。

設問：“おこづかい”面からみて、この一年間のあなたの日常生活はいかがですか？



■ ゆとりがある層／ない層のプロファイル比較

お小遣い面から見て、「ゆとりがある層」と「ゆとりがない層」を、会社員全体と比較したものを以下に掲載します。ここから、「ゆとりがある層」と「ゆとりがない層」がどのような方なのかを確認します。

男性会社員の「ゆとりがある層」は、20代、30代がやや多く、若年層寄りの傾向が見られます。また、全体と比較して、個人年収は46万円、世帯年収では90万円高い結果となり、収入自体の多さが分かります。一方、「ゆとりがない層」は、全体より40代、50代が多く、個人年収・世帯年収ともに、全体よりも低い結果でした。

女性会社員の「ゆとりがある層」は、男性会社員同様、20代、30代がやや多く、個人年収、世帯年収ともに高い結果となっています。

| | 男性会社員 全体 (n=1252) | ゆとりがある層 (n=605) | ゆとりがない層 (n=647) |
|------|--|--|--|
| 年齢 | | | |
| 年収 | 個人年収 532 万円 世帯年収 664 万円 | 個人年収 578 万円 世帯年収 754 万円 | 個人年収 490 万円 世帯年収 580 万円 |
| 家族構成 | | | |

| | 女性会社員 全体 (n=841) | ゆとりがある層 (n=404) | ゆとりがない層 (n=437) |
|------|--|--|--|
| 年齢 | | | |
| 年収 | 個人年収 333 万円 世帯年収 628 万円 | 個人年収 381 万円 世帯年収 760 万円 | 個人年収 289 万円 世帯年収 505 万円 |
| 家族構成 | | | |

【6】お小遣いの使いみち、やりくり術

- ▶ お小遣いの使いみちトップ3は、男性会社員は「昼食代」が45.6%、「携帯電話代」が25.5%、「嗜好品代」が22.0%。女性会社員は「昼食代」が39.0%、「携帯電話代」が38.1%、「身だしなみのための費用」が35.9%
- ▶ 男性会社員の78.8%、女性会社員の89.4%がお小遣い面で何らかのやりくりを実施しており、具体的なやりくり術は男女ともに「昼食費を安くする」がトップ
- ▶ 男性会社員は18%、女性会社員は16%は副収入があり、1か月あたりの副収入額が男性会社員で平均28,276円に対し、女性会社員は平均15,653円と金額に1万円強の開きがある

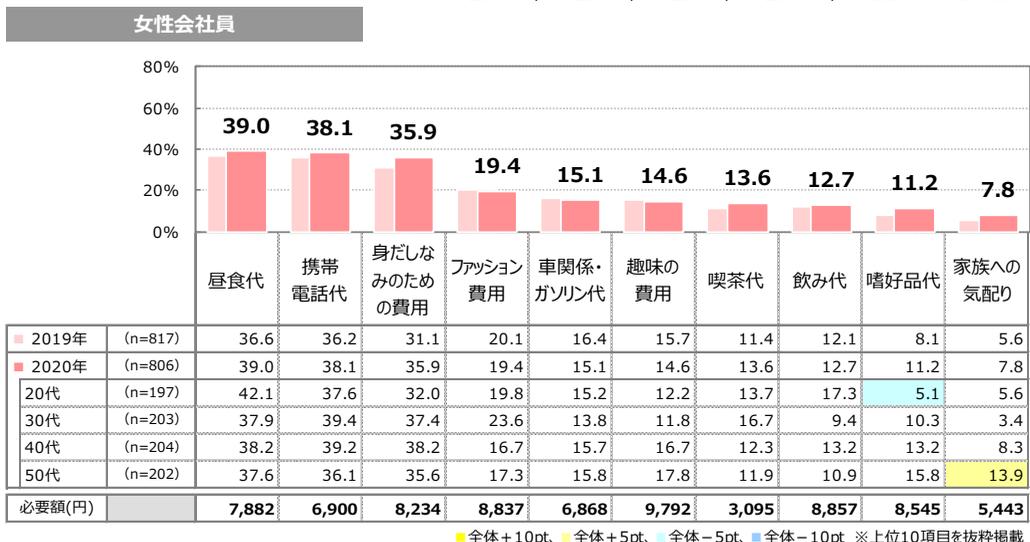
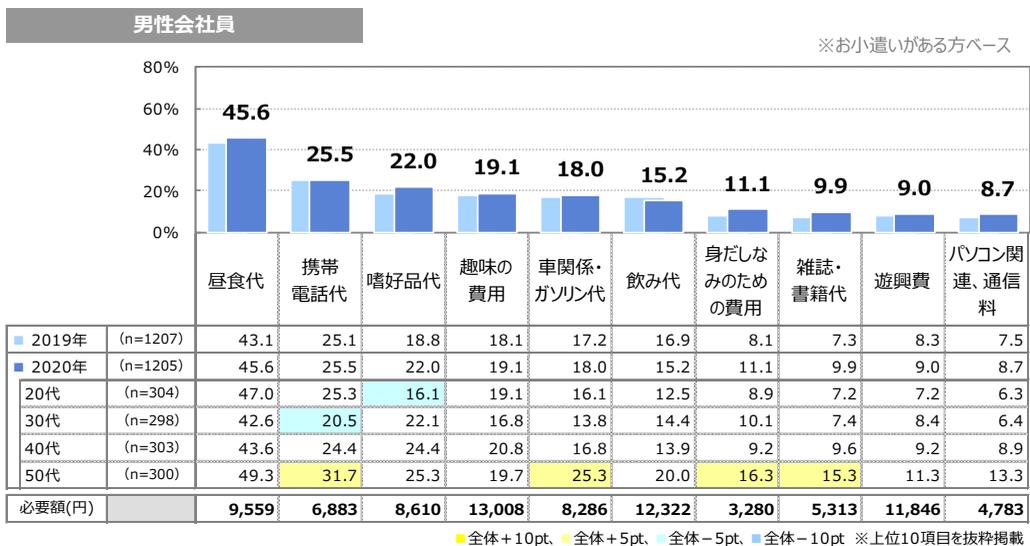
■ 必要不可欠な使いみちと必要額(月額)

お小遣いの使いみちとして必要不可欠な項目を、上位10項目抜粋したものが以下となります。

男性会社員では、「昼食代」が他項目に比べて20pt以上高く、昨年同様トップとなりました。「昼食代」の必要額は平均9,559円です。なお、必要額が最も高い項目は、必要不可欠な項目順位としては4番目に高い「趣味の費用」で13,008円となっています。

女性会社員も、男性会社員同様、「昼食代」が39.0%と最も高く、以下「携帯電話代」、「身だしなみのための費用」、「ファッション費用」が続きます。必要額が最も高い項目は、「趣味の費用」で9,792円という結果となりました。

設問：あなたの“おこづかい”の使いみちとして、必要不可欠なものは何ですか？
また、その項目の月々に必要な金額をお答えください。



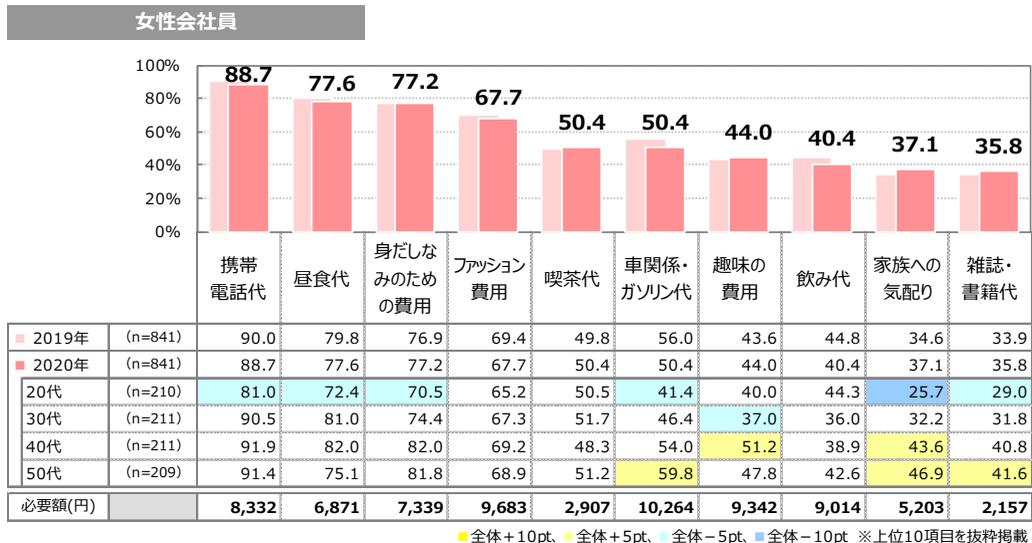
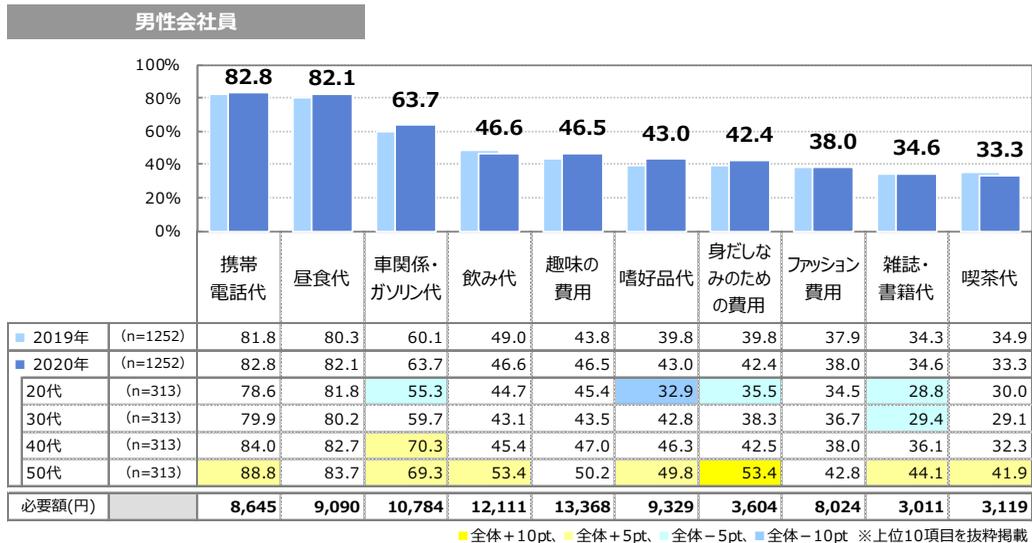
■ 月々の出費

月々の出費として使用している項目の上位10項目抜粋したものが以下となります。

男性会社員では、「携帯電話代」が82.8%と最も高く、以下「昼食代」、「車関係・ガソリン代」が続きます。なお、使用額が最も高い項目は「趣味の費用」で13,368円となっています。

女性会社員では、「携帯電話代」が88.7%と最も高く、以下「昼食代」、「身だしなみのための費用」、「ファッション費用」が続きます。男性会社員と比較して、「身だしなみのための費用」、「ファッション費用」が上位に来ており、男性会社員と女性会社員で、「携帯電話代」や「昼食代」以外のお金のかけ方に違いが見られます。

設問：あなたは、下記の項目に月々いくらかけていますか。



■ お小遣いのやりくりと節約術

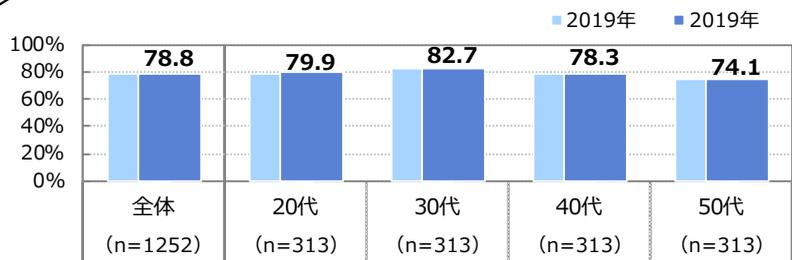
男性社員における、お小遣いのやりくり実施率は78.8%と、比較的多くの方が、何かしらの節約策を実行していることが分かります。具体的なやりくり術には、「昼食費を安くする」、「外で飲む回数を減らす」、「水筒を持参する」などが上位に挙げられます。また、すべての年代に共通して「昼食費を安くする」が最も高く、「外で飲む回数を減らす」が続きます。

女性社員におけるやりくり実施率は、男性社員よりも高く、89.4%の方が節約策を実行しています。具体的なやりくり術には、「弁当を持参する」、「昼食費を安くする」、「水筒を持参する」といった、オフィスでの飲食に関する節約策が上位に挙げられます。また男性社員と比較して、洋服・靴に関する項目が上位に挙がる点が特徴的です。

設問：あなたは、“おこづかい”面でみて、ここ最近、やりくりをしていることがありますか。

男性社員

<やりくり実施率>



1位 2位 3位 4位 5位

具体的なやりくり術

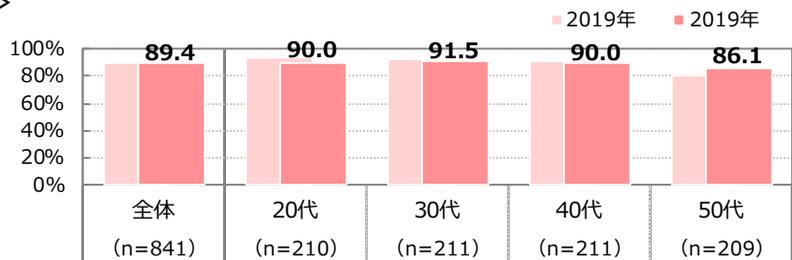
(%)

| やりくり術 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|--------------------------------|------|------|------|------|------|
| 昼食費を安くするように努力している | 35.4 | 35.8 | 32.6 | 35.8 | 37.4 |
| 外で飲む回数を減らしている | 28.5 | 28.1 | 30.7 | 26.2 | 29.1 |
| 水筒を持参するようにしている | 24.0 | 19.5 | 25.9 | 25.9 | 24.6 |
| 弁当を持参するようにしている | 23.2 | 22.0 | 28.1 | 22.4 | 20.1 |
| 衝動買いをしないようにしている | 22.2 | 18.2 | 24.6 | 21.7 | 24.3 |
| 少し遠くても歩くようにしている | 20.4 | 23.0 | 19.5 | 19.5 | 19.8 |
| タクシーなどに乗らないようにしている | 20.4 | 18.5 | 20.4 | 22.4 | 20.1 |
| ネット通販やバーゲンなどで価格が安いものを買うようにしている | 17.5 | 10.9 | 17.9 | 19.2 | 22.0 |

※上位8項目を抜粋掲載

女性社員

<やりくり実施率>



1位 2位 3位 4位 5位

具体的なやりくり術

(%)

| やりくり術 | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
|--------------------------------|------|------|------|------|------|
| 弁当を持参するようにしている | 50.2 | 51.0 | 52.6 | 49.8 | 47.4 |
| 昼食費を安くするように努力している | 47.4 | 55.7 | 48.8 | 39.8 | 45.5 |
| 水筒を持参するようにしている | 45.8 | 46.2 | 50.2 | 45.5 | 41.1 |
| 衝動買いをしないようにしている | 35.2 | 31.9 | 34.1 | 36.0 | 38.8 |
| 洋服・靴など、安いものを買うようにしている | 31.2 | 26.7 | 38.9 | 32.2 | 26.8 |
| 洋服・靴などを買わないようにしている | 30.8 | 24.3 | 29.4 | 31.3 | 38.3 |
| ネット通販やバーゲンなどで価格が安いものを買うようにしている | 24.9 | 21.4 | 27.5 | 24.6 | 25.8 |
| 外で飲む回数を減らしている | 24.3 | 31.4 | 21.8 | 20.4 | 23.4 |

※上位8項目を抜粋掲載

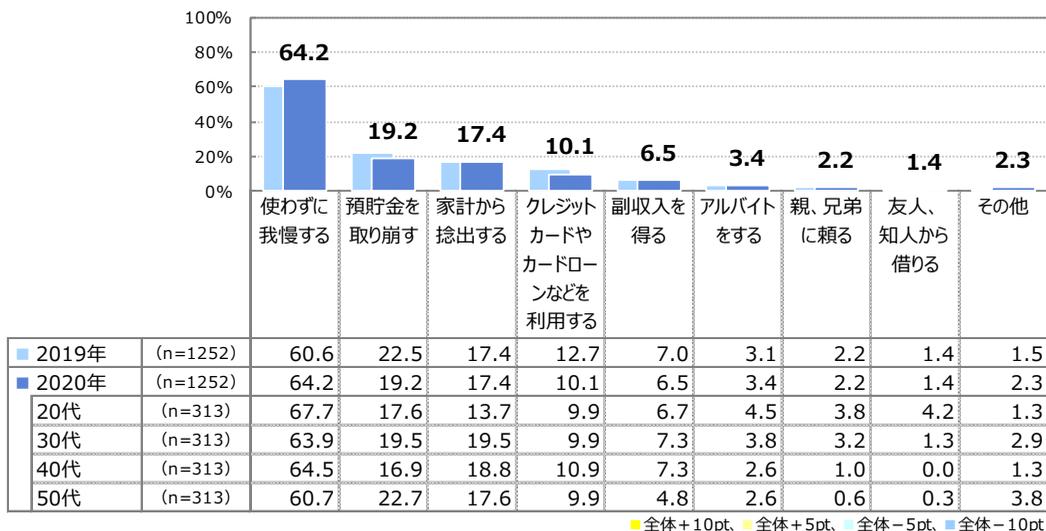
■ お小遣い不足時の対応

男性社員における、お小遣い不足時の対応では、「使わずに我慢する」が64.2%で突出しています。以降、「預貯金を取り崩す」、「家計から捻出する」が続き、昨年同様、手持ちのお金で対応するケースが多いようです。年代別に見ても、どの年代でも「使わずに我慢する」が突出している点に変化はありません。

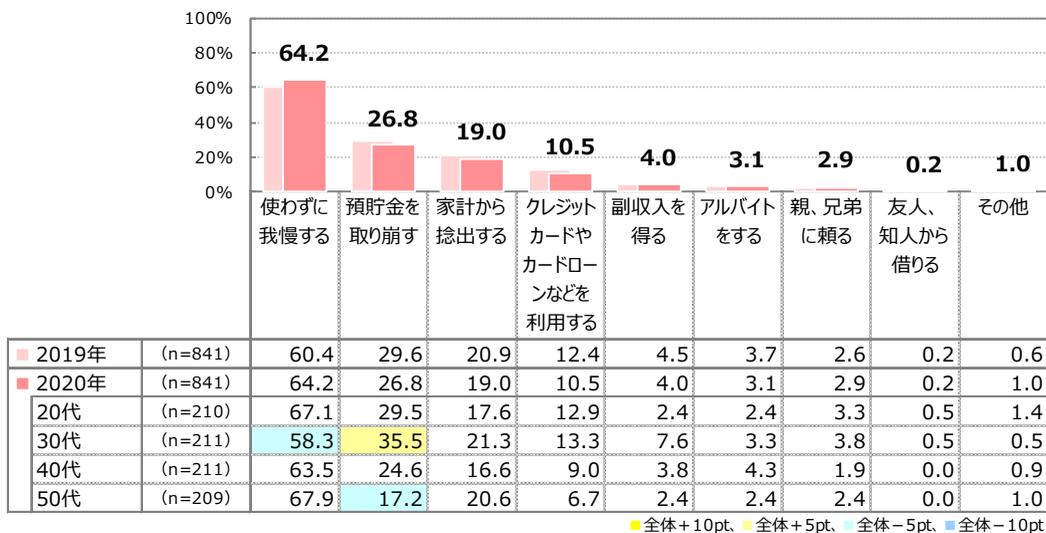
女性社員においても、男性社員と同様に、「使わずに我慢する」が64.2%と突出しています。以降、「預貯金を取り崩す」、「家計から捻出する」が続く点も共通しています。

設問：“おこづかい”が足りなくなったとき、あなたはどのようにやりくりしていますか？

男性社員



女性社員



■ 副収入事情

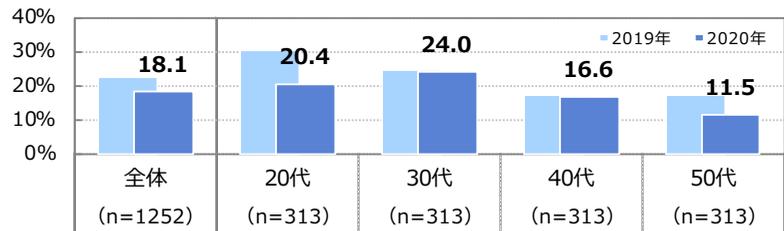
男性会社員の18.1%は副収入があり、1ヵ月あたり、平均28,276円の収入となっています。その収入源は、「ポイント・アンケートサイト」が54.2%と最も多く、「株式投資」、「アルバイト・副業」などが続きます。年代別に見ると、副収入を得ている割合は、20代、30代で高い傾向が見られます。また、40代と50代では副収入を得ている割合は少ないものの、副収入額は20代、30代より高い傾向となっています。

女性会社員は16.4%が副収入ありで、30代が最も副収入を得ている割合が高いです。1ヶ月あたりの副収入額は15,653円となっており、男性会社員よりも低い結果となっています。

設問：あなたは給与以外に副収入がありますか？ある方は月にどのくらいの収入を得ていますか？
どのような方法で副収入を得ていますか？

男性会社員

<副収入を得ている割合>



副収入額と収入源

※副収入がある方ベース

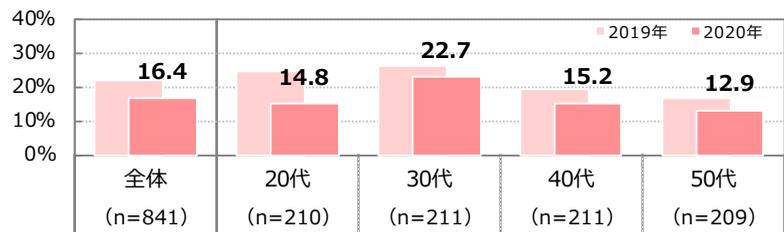
| 1ヶ月当たりの副収入額 | (n=222) | (n=62) | (n=75) | (n=51) | (n=34) |
|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 28,276円 | 25,804円 | 23,884円 | 34,804円 | 32,676円 |

| 収入源 | 割合 (%) | | | | |
|----------------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 2019年 | 2020年 | 2019年 | 2020年 | 2019年 |
| ポイントサイト、アンケートサイト | 54.2 | 54.7 | 65.3 | 51.9 | 33.3 |
| 株式投資 | 31.7 | 34.4 | 25.3 | 28.8 | 44.4 |
| アルバイト・副業 | 23.8 | 12.5 | 22.7 | 26.9 | 41.7 |
| ネットオークション | 11.5 | 9.4 | 5.3 | 11.5 | 27.8 |
| ギャンブル (パチンコ、競馬、競艇など) | 8.4 | 10.9 | 8.0 | 9.6 | 2.8 |
| 不動産投資 (売買収益、賃貸収入など) | 7.5 | 12.5 | 4.0 | 11.5 | 0.0 |
| FX等の外国為替取引 | 7.0 | 4.7 | 13.3 | 1.9 | 5.6 |
| フリーマーケット | 6.2 | 9.4 | 4.0 | 3.8 | 8.3 |

1位 2位 3位 4位 5位 ※上位8項目を抜粋

女性会社員

<副収入を得ている割合>



副収入額と収入源

※副収入がある方ベース

| 1ヶ月当たりの副収入額 | (n=137) | (n=31) | (n=48) | (n=32) | (n=26) |
|-------------|---------|--------|---------|---------|---------|
| | 15,653円 | 8,677円 | 18,583円 | 18,234円 | 15,385円 |

| 収入源 | 割合 (%) | | | | |
|------------------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | 2019年 | 2020年 | 2019年 | 2020年 | 2019年 |
| ポイントサイト、アンケートサイト | 61.6 | 67.7 | 68.8 | 50.0 | 55.6 |
| アルバイト・副業 | 35.5 | 32.3 | 25.0 | 34.4 | 59.3 |
| フリーマーケット | 13.8 | 12.9 | 20.8 | 9.4 | 7.4 |
| ネットオークション | 10.1 | 3.2 | 16.7 | 12.5 | 3.7 |
| 株式投資 | 8.0 | 0.0 | 8.3 | 15.6 | 7.4 |
| 宝くじ | 3.6 | 0.0 | 8.3 | 3.1 | 0.0 |
| 懸賞 | 3.6 | 0.0 | 4.2 | 6.3 | 3.7 |
| FX等の外国為替取引 | 2.9 | 3.2 | 4.2 | 3.1 | 0.0 |

1位 2位 3位 4位 5位 ※上位8項目を抜粋

※インターネットリサーチを行っているため、「ポイントサイト、アンケートサイト」が高くなっています。

【7】 サラリーマンの給与管理状況

- 既婚男性社員の約6割が「お給料の“全額”を家庭に入れている」と回答。20代は51.5%と他世代に比べて低くはあるが、若い世代も全額を家庭にいれてる層が主流
- 女性社員の既婚世帯は、男性社員に比べて全額を家庭に入れる割合が低く37%
- 共働き世帯の給与管理状況では、男性社員では51.3%が「配偶者が管理し、あなたにお小遣いを渡す」となり、女性社員はその割合が1割以下と自分で給与管理する割合が高い

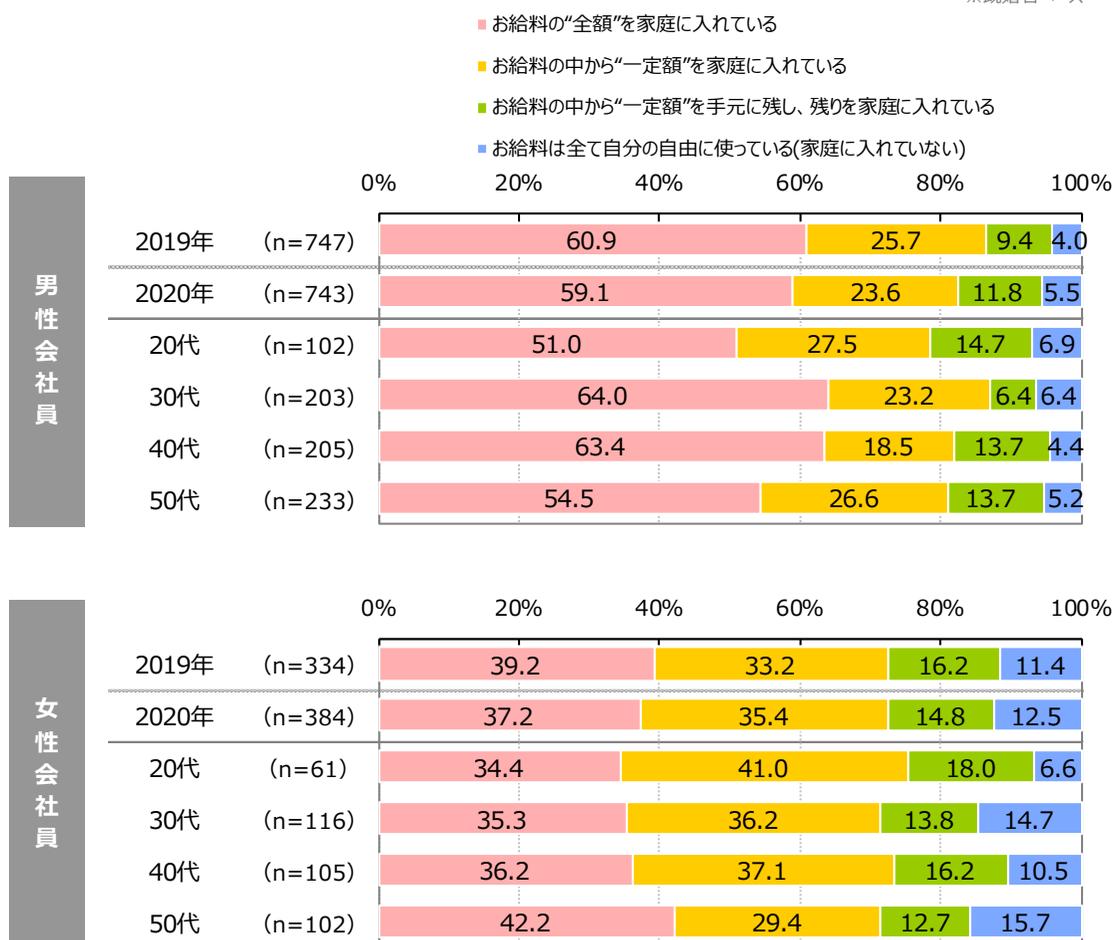
■ 給与管理状況

男性社員の既婚世帯では、59.1%が「お給料の“全額”を家庭に入れている」という結果で、昨年と同様、およそ6割がお小遣い制であることが分かります。年代別に見ると、20代で「お給料の“全額”を家庭に入れている」割合が最も低くなっている点の特徴です。

女性社員の既婚世帯では、「お給料の“全額”を家庭に入れている」と「お給料の中から“一定額”を家庭に入れている」の割合が3割半ばで同水準となり、男性社員と比べて全額を家庭に入れている割合は低くなっています。

設問：あなたのお給料は、どのようにして管理していますか。

※既婚者ベース



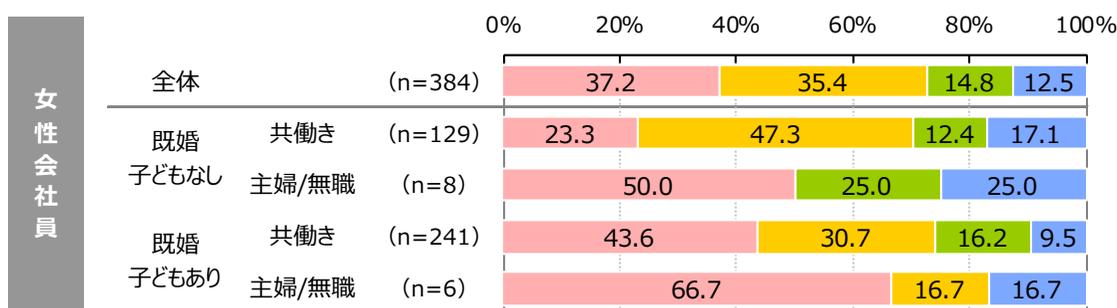
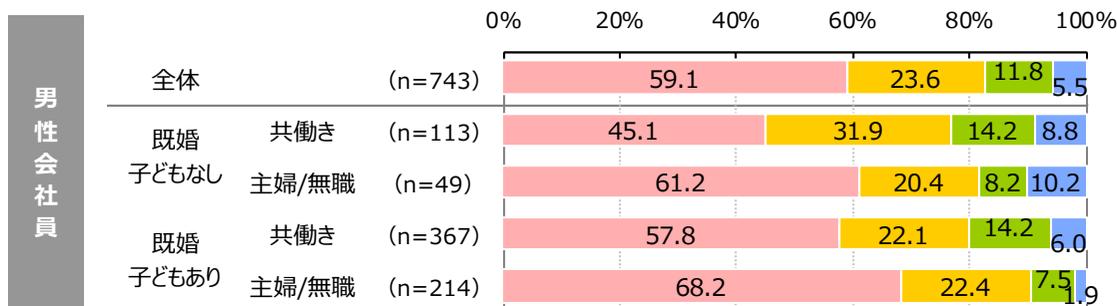
男性会社員の給与管理状況をライフステージ別に見ると、DINKS世帯(既婚・子どもなし・共働き)は、「お給料は“全額”を家庭に入れている」が45.1%にとどまり、全額を家庭に入れる方は全体よりも低くなっています。

女性会社員では、DINKS世帯は「お給料の中から“一定額”を家庭に入れている」が47.3%と半数弱を占め、全体よりも高い傾向にあります。

設問：あなたのお給料は、どのようにして管理していますか。

※既婚者ベース

- お給料の“全額”を家庭に入れている
- お給料の中から“一定額”を家庭に入れている
- お給料の中から“一定額”を手元に残し、残りを家庭に入れている
- お給料は全て自分の自由に使っている(家庭に入れていない)



※n=30未満は参考値として掲載

共働き世帯の給与管理状況を見ると、男性社員では51.3%が「配偶者が管理し、あなたに生活費やお小遣いを渡す」という結果となりました。また、「あなたが管理し、配偶者に生活費やお小遣いとして渡す」「配偶者とは別々で管理している」がそれぞれ2割台となっています。年代別に見ると、若年層ほど「あなたが管理し、配偶者に生活費やお小遣いとして渡す」割合が高くなる傾向となっており、20代では3割を超えている点が特徴です。

女性社員では、「あなたが管理し、配偶者に生活費やお小遣いとして渡す」が53.8%と半数を超える結果となりました。男性社員と比べて、自身で管理する割合が高く、その割合は年代とともに高くなっていきます。

設問：あなたと配偶者(パートナー)のお給料は、どのように管理していますか。

※既婚共働きベース

- あなたが管理し、配偶者(パートナー)に生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者(パートナー)が管理し、あなたに生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者(パートナー)とは別々で管理している
- その他



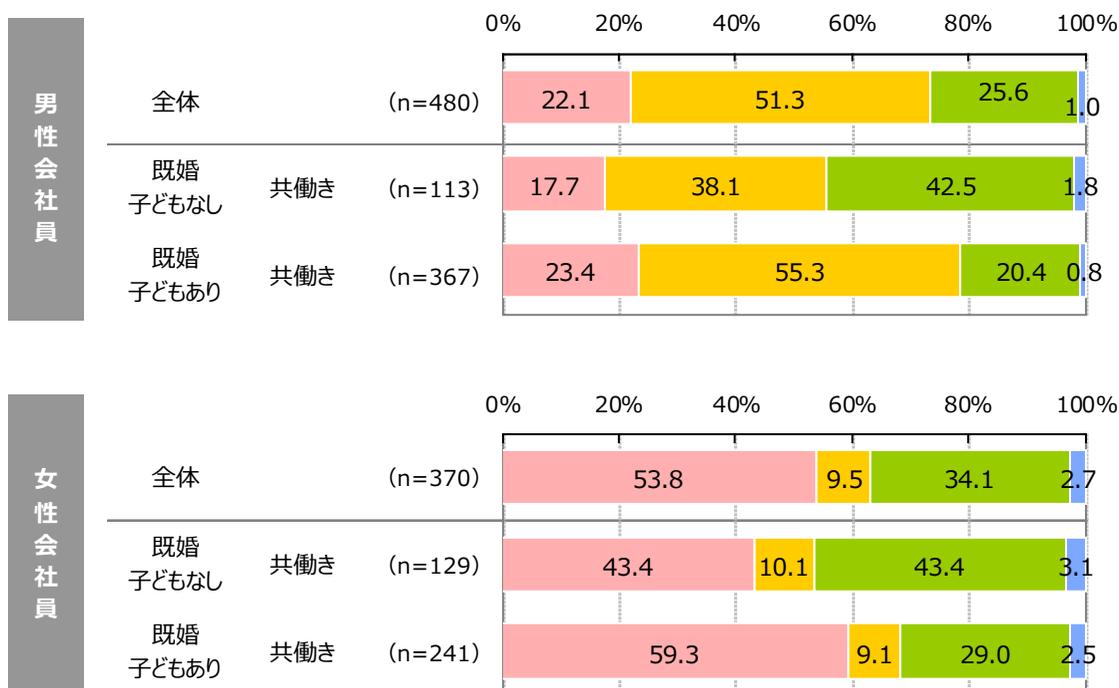
共働き世帯の給与管理状況をライフステージ別に見ると、男性会社員の子どもなし世帯では、「配偶者とは別々で管理している」が42.5%と最も高い割合を占めます。一方、子どもあり世帯では、「配偶者が管理し、あなたに生活費やお小遣いとして渡す」が55.3%と最も高い割合を占める点が特徴です。

女性会社員では、子どもあり世帯で「あなたが管理し、配偶者に生活費やお小遣いとして渡す」が59.3%と6割弱を占める点が特徴です。子どもの誕生により、別財布から、女性が管理する同じ財布へ移行する様子が見られます。

設問：あなたと配偶者（パートナー）のお給料は、どのように管理していますか。

※既婚共働きベース

- あなたが管理し、配偶者（パートナー）に生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者（パートナー）が管理し、あなたに生活費やお小遣いとして渡す
- 配偶者（パートナー）とは別々で管理している
- その他



【8】 支払い手段

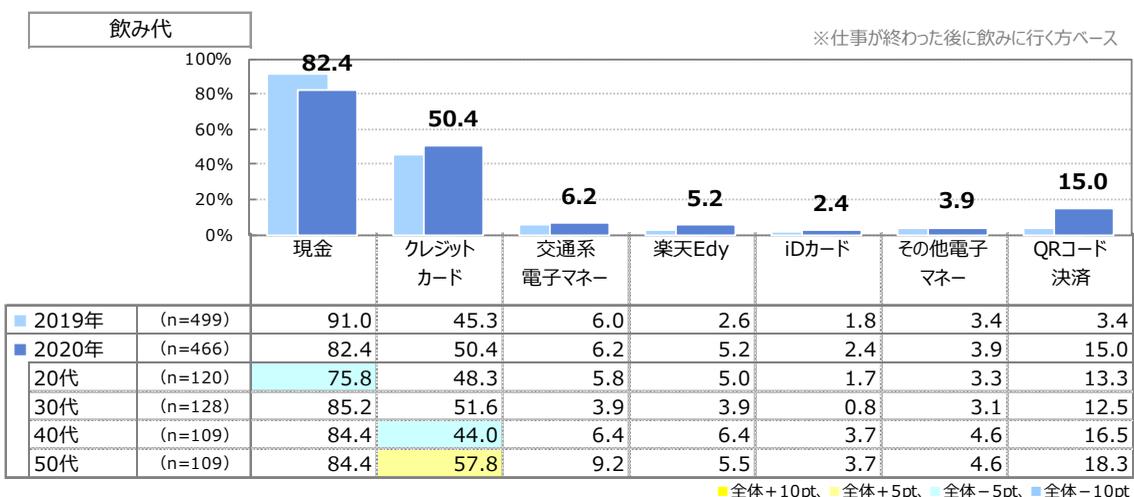
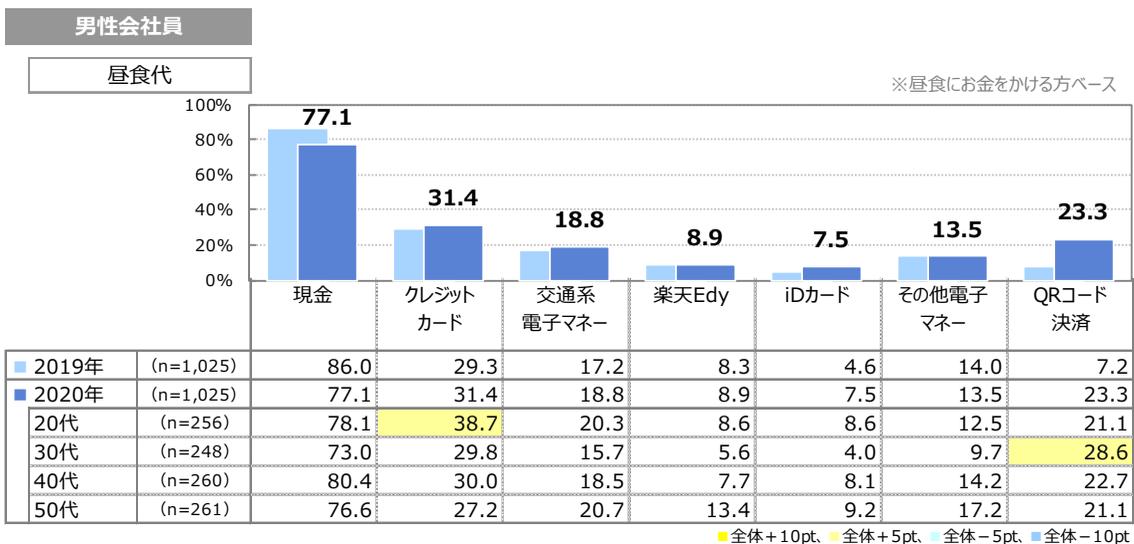
- ▶ 男性・女性会社員ともに、昼食代の支払い手段としては、「現金」がトップで7割後半。ついで、「クレジットカード」約3割、「QRコード決済」が約2割強と続く。「QRコード決済」は昨年から16pt増と大幅に増加

■ 昼食代・飲み代の支払い手段

男性会社員の昼食代の支払い方法は、「現金」が77.1%で最も高く、「クレジットカード」31.4%、「QRコード決済」が23.3%が続きます。「QRコード決済」については、昨年から16pt増と大幅に増加しています。また、性年代別で見ると、「QRコード決済」は30代が3割弱と高い点が特徴となっています。

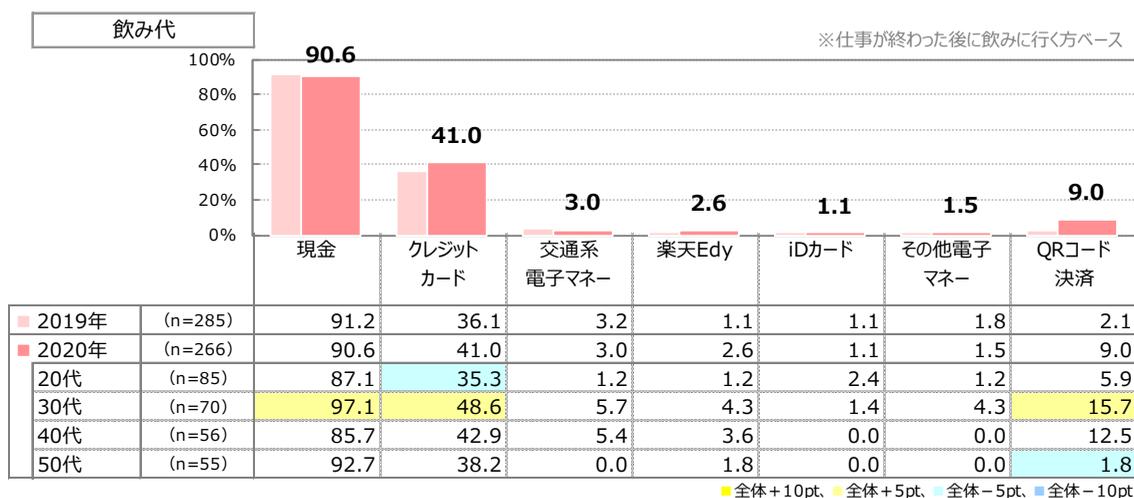
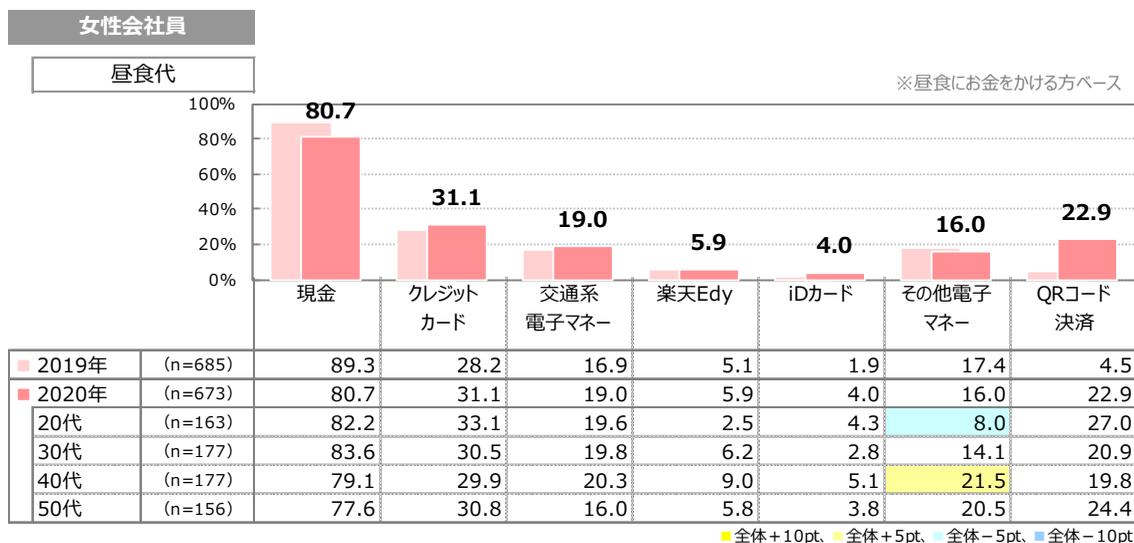
また、飲み代の支払い方法も昼食代と同様に、「現金」が82.4%と最も高く、「クレジットカード」50.4%、「QRコード決済」15.0%が続きます。昼食代と比較して、「現金」「クレジットカード」が高い点が特徴的です。

設問：以下の項目について、あなたの支払手段としてあてはまるものをすべてお選びください。



女性会員の昼食代の支払い方法は、「現金」が80.7%で最も高く、「クレジットカード」31.1%、「QRコード決済」22.9%が続きます。「QRコード決済」については、昨年から18pt増と大幅に増加しています。

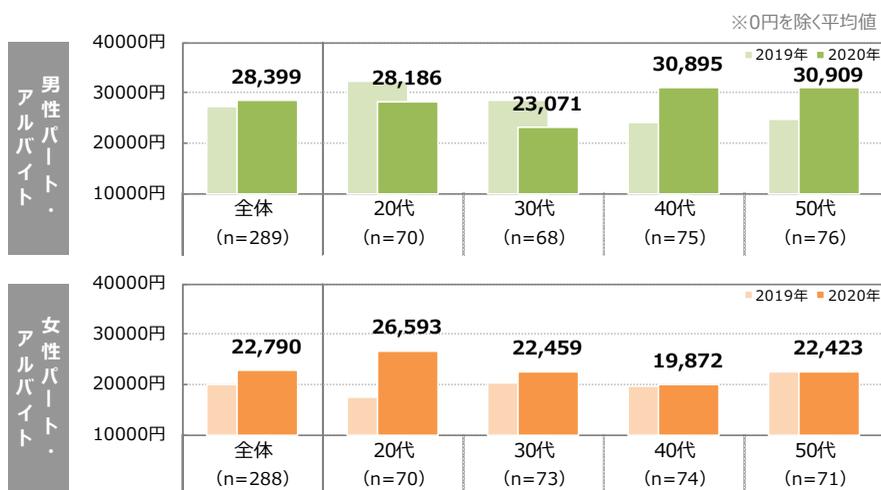
また、飲み代の支払い方法は、「現金」が90.6%で最も高く、「クレジットカード」41.0%が続きます。男性会社員同様、昼食代と比較して、「現金」「クレジットカード」が高い傾向は同様ですが、男性会社員より「クレジットカード」の利用率は低い結果となっています。



【9】パート・アルバイトの基本データ

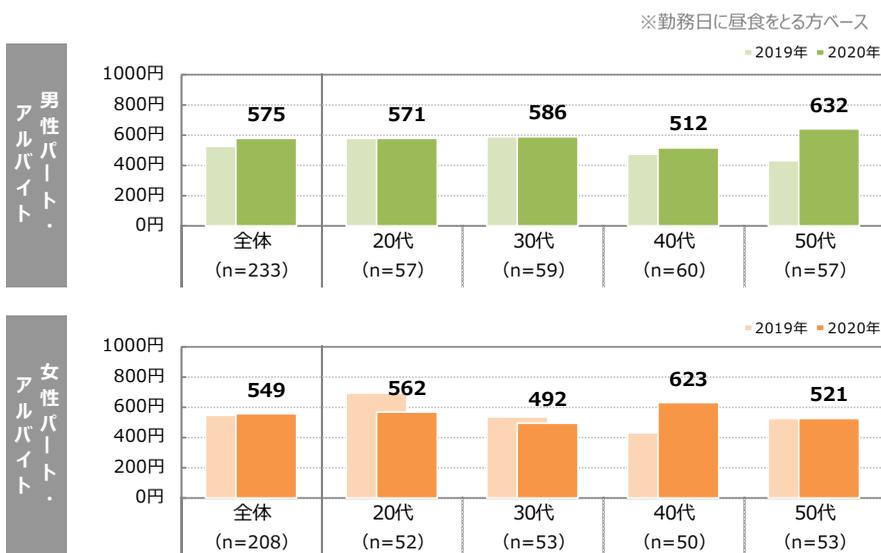
■ お小遣い

1カ月の平均お小遣い額



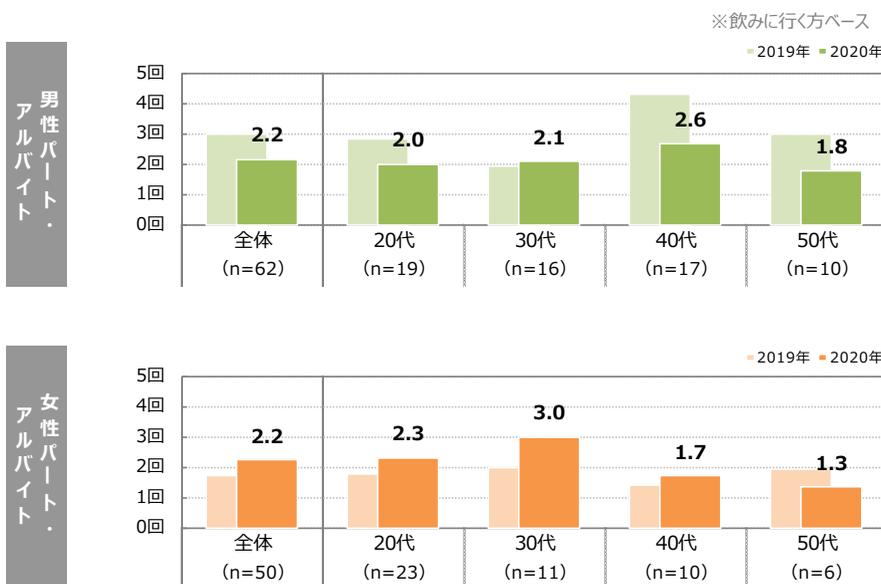
■ 昼食事情

1日の平均昼食代



■ 飲み事情

1カ月の平均飲み回数



※n=30未満は参考値として掲載

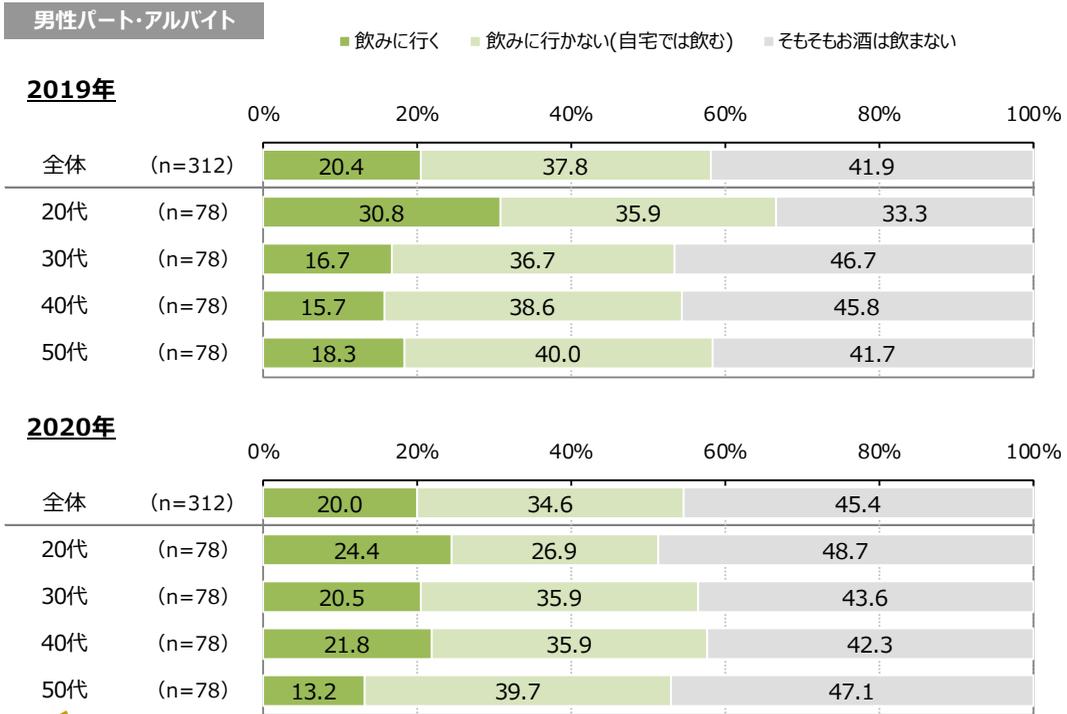
■ 飲み事情(つづき)

1カ月の家飲み回数

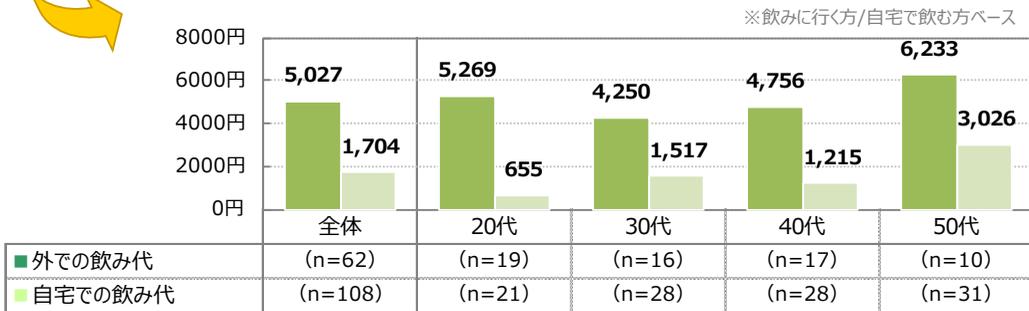


■ 飲み事情(つづき)

飲酒状況と1回の平均飲み代

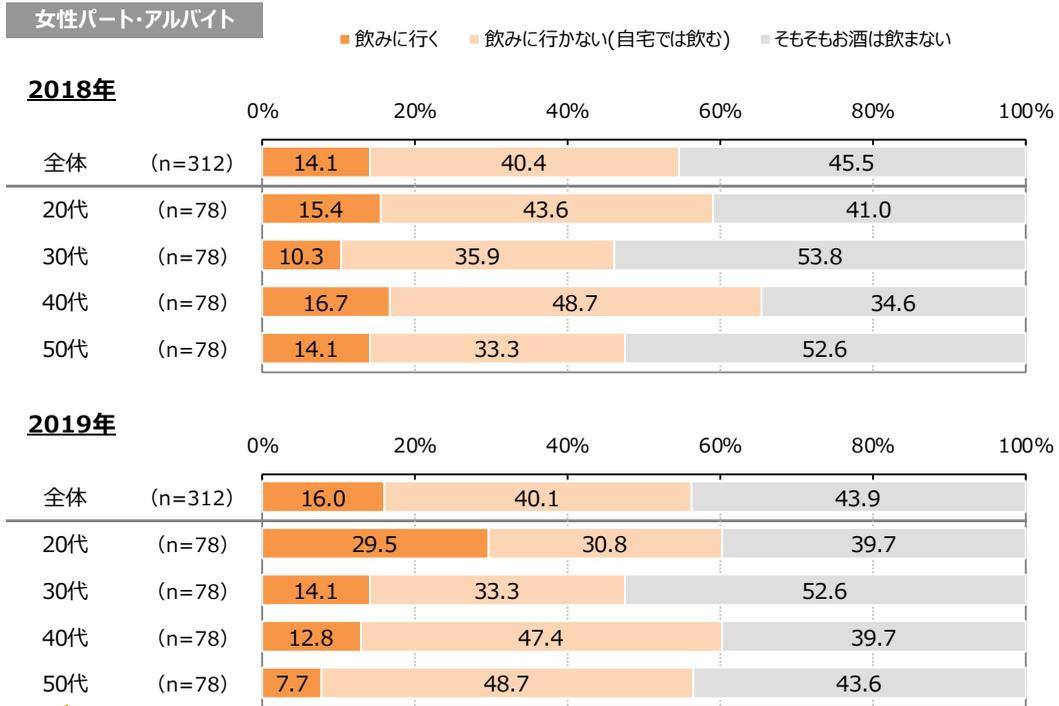


1回の平均飲み代は・・・？

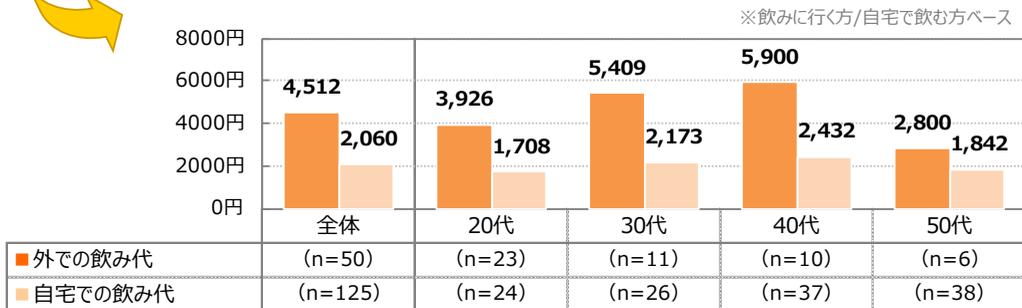


■ 飲み事情(つづき)

飲酒状況と1回の平均飲み代



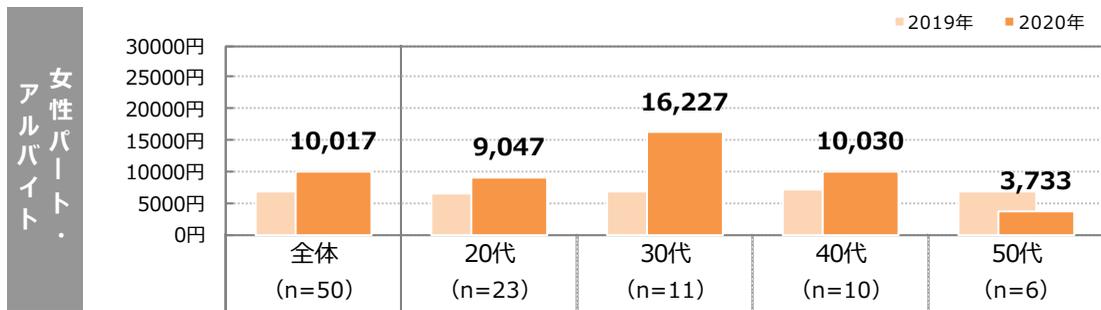
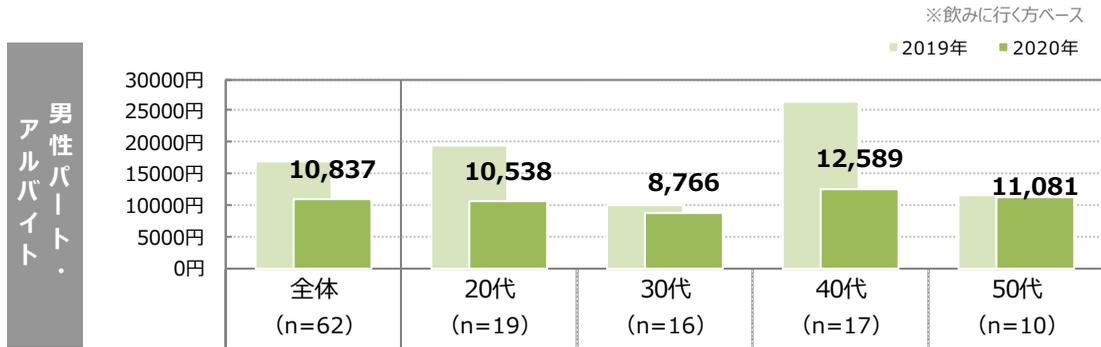
1回の平均飲み代は・・・？



※n=30未満は参考値として掲載

■ 飲み事情(つづき)

1ヵ月の平均飲み代



※n=30未満は参考値として掲載